■仕 様

種　　類	家庭用全自動電気洗濯機
電　　源	AC 100V　50-60Hz共用
洗濯・脱水容量	4.2kg（乾燥布質量）
風乾燥容量	2.0kg（乾燥布質量）
洗濯方式	うず巻式
定格消費電力	210W / 280W（50Hz/60Hz）
使用水道水圧	0.03～1MPa（0.3～10kgf/cm²）
標準水量	39L
標準使用水量	76L
外形寸法※	幅512mm × 奥行き482mm × 高さ878mm
質　　量	26.5kg
電源コード	1.9m

※家庭用品品質表示法による表示（高さは給水ホースの継手、幅は排水ホース、奥行は突起物などを含む最大寸法）

- 製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- この製品は日本国内用に設計されていますので、日本国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

廃棄時にご注意ください

- 2001年4月より施行されている家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄する場合、収集・運搬料金と再商品化等の料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

★長年ご使用の『洗濯機』の点検を！

このような症状はありませんか？

- 電源コード、プラグが異常に熱い
- 電源コードに深いキズや変形がある
- 焦げくさいにおいがする
- 運転中に異常な音や振動がする
- 洗濯機に触れるとビリビリ電気を感じる
- その他異常や故障がある

このような症状のときは、ご使用を中止し、事故防止のため電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

お客様メモ（後日のために、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品番	JW-K42H
販売店名	☎（　　）　ー		
お客様ご相談窓口	☎（　　）　ー		

ハイアールジャパンセールス株式会社　〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪トラストタワー7F

543713D(1405)

取扱説明書

高濃度洗浄機能搭載※

ハイアール全自動電気洗濯機（家庭用）

品番 *JW-K42H*

※高濃度洗浄液から洗い始め、繊維のすみずみまで洗剤を浸透させ、汚れを芯から引きはがします。

初めて使用するときに、排水ホースから水が出ることがあります。これは工場での性能テストによる残水です。

Haier

保証書別添

- このたびは、お買上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保管していただき、取扱いが不明な場合や、不具合が生じたときにお役立てください。

もくじ

安全上のご注意

※ご使用になる前に、この『**安全上のご注意**』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※お読みになったあとは、次にお使いになる場合にすぐ見られるところへ大切に保管してください。

この家庭用全自動電気洗濯機は、よごれた衣服などを洗う目的や衣服などを脱水する目的に使用するものですので、それ以外のご使用は絶対しないでください。
この用途以外でのご使用で発生した故障・修理・事故その他の不具合については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

表示について

ここに表示している『**安全上のご注意**』は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。
『**警告**』『**注意**』の2つに大別してお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

取り扱いを誤ると死亡、または重傷などを負う可能性が想定される内容を表示。

取り扱いを誤ると傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生すると想定される内容を表示。

■表示の例

お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。下記はその一例です。

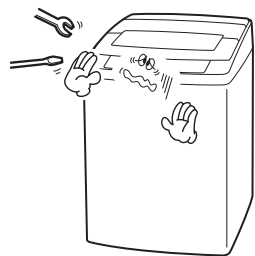
△記号は、「警告や注意を促す」内容のものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）を示します。

⊘記号は、してはいけない「禁止」内容のものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示します。

●記号は、必ず実行していただく「強制」内容のものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）を示します。

⚠警告

改造は絶対しない。また、修理技術者以外の人が分解したり修理しない

- 火災・感電・けがの原因となります。
  修理はお買い上げの販売店または、お客さま修理ご相談窓口にご相談ください。

分解禁止

回転中の洗濯・脱水槽に手を入れない

- 洗濯・脱水槽の回転が完全に止まるまでは、絶対に中の洗濯物や洗濯・脱水槽に手を触れないでください。ゆるい回転でも、洗濯物が手に巻きついてけがをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。

接触禁止

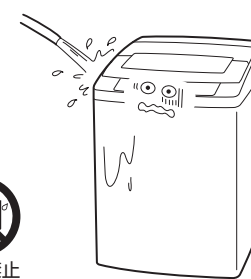
⚠警告

幼児には洗濯・脱水槽をのぞかせない

- 洗濯機の近くに台などを置かないでください。洗濯・脱水槽の中に幼児が落ちてけがをしたり、おぼれたりするおそれがあります。

禁止

本体各部に直接水をかけない

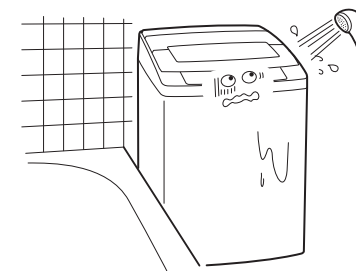
- ショート・感電のおそれがあります。

水ぬれ禁止

風雨にさらされるところには、据え付けない

- 風雨にさらされる場所、湿気の多い場所には据え付けないでください。感電・火災・故障・変形のおそれがあります。

水ぬれ禁止

浴室・シャワー室などには、据え付けない

- 感電・火災・故障・変形のおそれがあります。

浴室での使用禁止

アースを確実におこなう

- 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アースの取り付けはお買い上げの販売店にご相談ください。

アース

火気を近付けない

- 火気を近付けたり、火のついたロウソク・たばこ・蚊取り線香・熱いヤカンなどを置かないでください。火災や変形の原因になります。

火気禁止

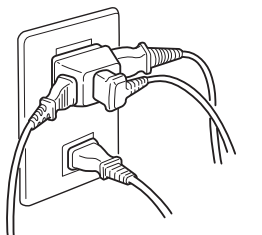
引火物を洗濯・脱水槽に入れない

- 洗濯・脱水槽には絶対に、灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなどやそれらの付着した洗濯物を入れたり、近付けたりしないでください。
  爆発や火災のおそれがあります。

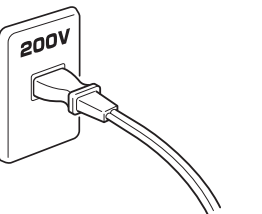
禁止

定格15A以上のコンセントを単独で使用する

- 他の器具と併用した場合、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

コンセントを単独で

交流100V以外では、使用しない

- 火災の原因になります。

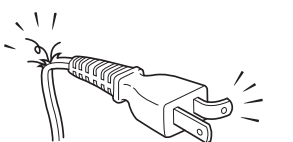
禁止

電源コードは束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたり、加熱したり、加工したりしない

- 電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。

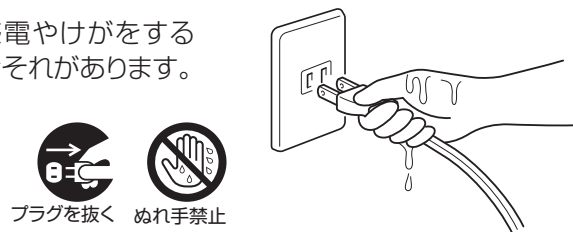
禁止

電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

⚠警告

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない

- 感電やけがをするおそれがあります。

電源プラグを本体で押し付けない

- 傷つき、過熱発火のおそれがあります。

電源プラグの刃及び刃の取付面にホコリが付着している場合はよく拭く

- 火災の原因になります。

⚠注意

洗濯機の上にのぼったり、重いものを載せない

- 変形・破損によりけがをするおそれがあります。

洗濯時、50℃以上のお湯は使わない

- プラスチック部品の変形や傷みにより、感電や漏電の原因になります。

運転中、洗濯機の下に手や足を入れない

- 回転部があり、けがをするおそれがあります。

洗濯前は、必ず水栓を開いて給水ホースの接続を確認する

- ネジがゆるんだりしていると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。

電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜く

- コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。

長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントより抜く

- ホコリがたまって発熱・発火の原因になることがあります。

防水性のマット・シートや衣類、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すすぎ・脱水・風乾燥をしない

- 洗濯物が飛び出したり、異常振動で洗濯機が転倒してけがをしたり、洗濯機・かべ・床などの破損、衣類の損傷などのおそれがあります。洗濯物の絵表示を見て洗濯時の参考にしてください。

（足拭きマットなどかたくて厚いもの、雨ガッパ、オムツカバー、サウナスーツ、ウエットスーツ、スキーウエア、自転車・バイク・自動車カバー、寝袋など）

禁止

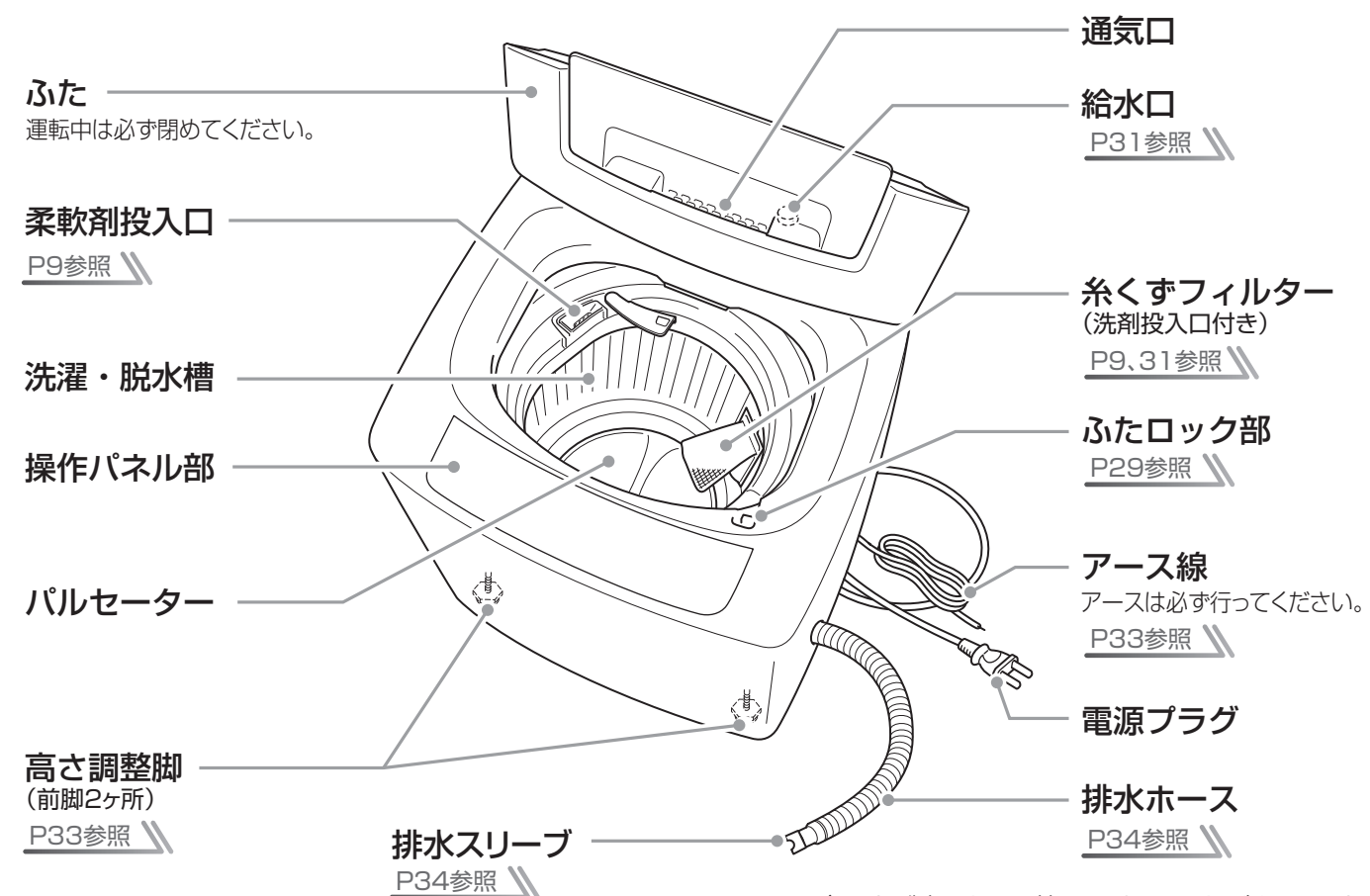
■使用上のお願い

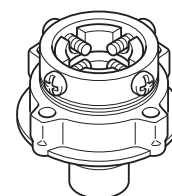
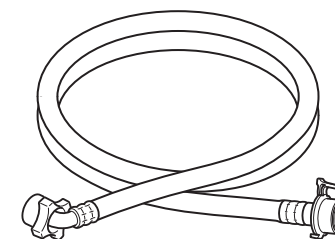
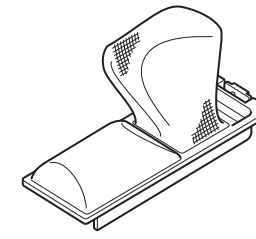
ご使用後は、必ず水栓を閉めてください。
- 万一の水漏れを防止するためです。

ふたが破損したり、運転中にふたを開けたときに洗濯・脱水槽が回っている場合は、直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。
- けがの原因になります。

雷が鳴り出したら、洗濯機やコンセントには触らないでください。
- 感電するおそれがあります。

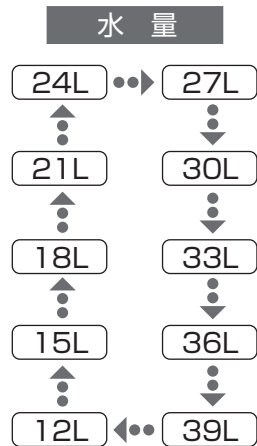
各部の名称

本体

※図はイメージです。製品とは、若干異なることがあります。

付属品

マジックつぎ手
P35·36参照

給水ホース
P36参照

糸くずフィルター 2個
P9、31参照

操作パネル部

水量ボタン
- 水量の切り換えをします。
P8参照

水量ランプ
- 選択されている水量をランプの点灯または点滅でお知らせします。
- 『標準』コースの自動運転時の水量は、無段階に自動設定され、最も近い水量が点灯します。

残り時間/予約時間/内容表示
残り時間
- コース・行程の選択中と運転中は、洗濯終了までの残り時間（分）を表示します。（99分を超える場合は、2H、3Hと表示されます。）
- 『標準』コースの布量検知中は"- -"と表示されます。

予約時間
- 予約タイマー運転中は、洗濯終了予定までの時間を表示します。

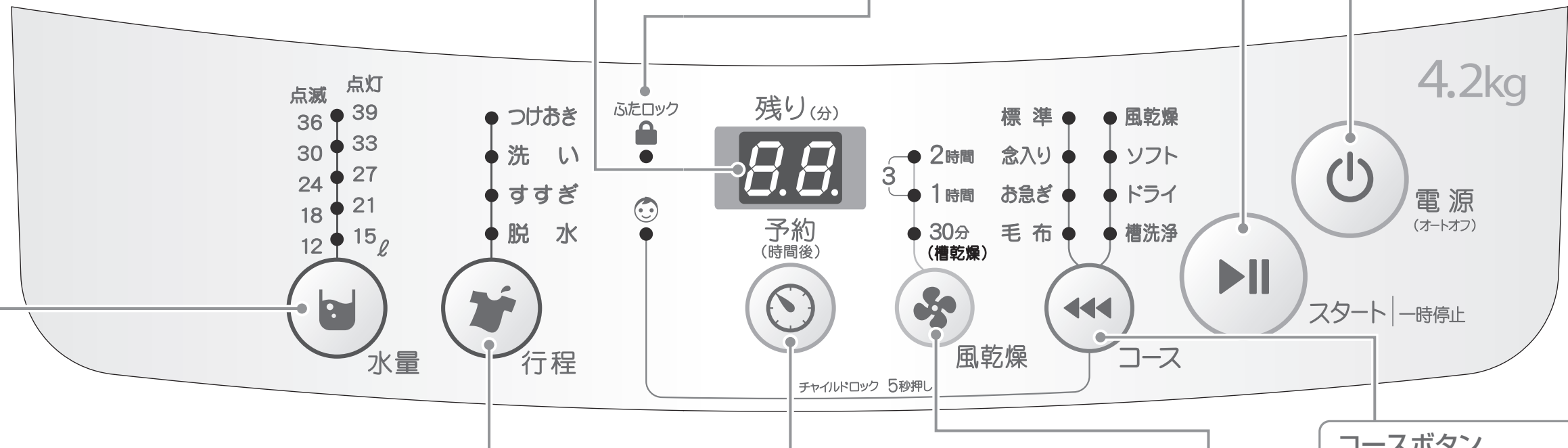
内容表示
- エラーの内容を表示します。

ふたロックランプ
- ふたがロックされているときに、ランプが点灯します。P29参照

チャイルドロックランプ
- チャイルドロック設定もしくは動作中にランプが点灯します。
P29参照

スタート/一時停止ボタン
- 運転を開始します。
- 運転中に押すと、一時停止します。もう一度押すと、一時停止したところから運転を再開します。
- 5秒間押し続けて運転を開始させると、終了音を消すことができます。P29参照

電源（入/切）ボタン
- 電源を入/切します。

■オートOFF機能
- 洗濯終了後、自動的に電源が切れます。
- スタートせずに約5分経過すると、自動的に電源が切れます。

行程ボタン
- 行程の切り換えをします。
P25参照

行程ランプ
- 選択されている行程をランプの点灯で、進行中の行程をランプの点滅でお知らせします。

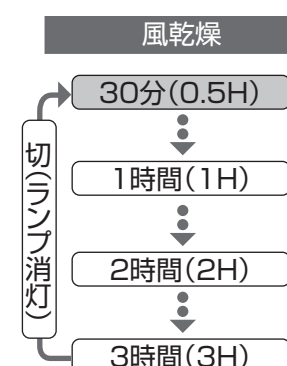
■標準コースでのすすぎ1回の設定について

電源ボタンを押したあとに、『行程』ボタンを長押し（約3秒）すると"ピピピ"と電子音が鳴り、コースランプの「標準」が点滅に変わり、すすぎ1回の設定になります。

※設定を解除するときは、電源を入れ直してください。
※すすぎ1回の設定は使用のたびに設定してください。（設定は記憶されません）
※本設定（標準コースのすすぎ1回設定）は、すすぎ1回の設定を推奨されている洗剤を使用される際の特別機能です。それ以外の用途でのご使用はお勧めしません。通常の標準コースをお使いください。

予約ボタン
- 予約タイマー運転の洗濯終了時間を設定をします。
- 1時間単位で、2～24時間後までの設定ができます。
P27・28参照

風乾燥ボタン
- 風乾燥時間の切り換えをします。
P17・18、25参照

風乾燥ランプ
- 選択されている時間をランプの点灯でお知らせします。
- 時間の経過と共にランプは移動します。

コースボタン
- コースの切り換えをします。
- チャイルドロックの設定・解除をします。（約5秒間押す）P29参照

コースランプ
- 選択されているコースをランプの点灯でお知らせします。
- すすぎ1回設定のときに、ランプの「標準」を点滅でお知らせします。（行程ボタン部に記載の「標準コースでのすすぎ1回の設定について」参照）

洗濯前の準備

洗濯機の準備

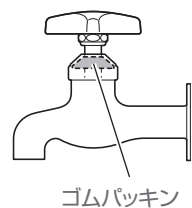
1 排水ホースを、排水口に差し込む
P34参照

- 据え付け時や初めて使用するとき、排水ホースから水が出ることがありますが、これは工場での性能テストの残水で故障や不良ではありません。

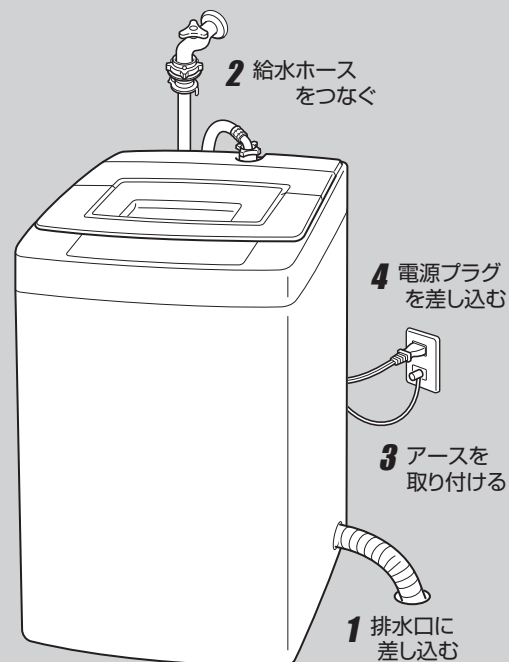
2 給水ホースをつなぐ P35･36参照

- 水栓を開いて、マジックつぎ手や給水ホースの接続部より水漏れがないか確認してください。

水栓から水が漏れる場合は…

水栓のゴムパッキンが劣化している場合に、水栓から水が漏れることがあります。
万一水漏れする場合は、水栓器具の販売店にご相談ください。

3 アースを取り付ける P33参照

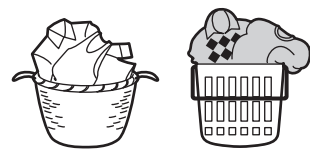
4 電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグは、根本まで確実に差し込んでください。

衣類の準備

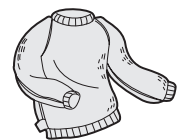
■ポケットに所持品が入っていないか確かめる

- 鍵やコインなどが入っていると衣類や洗濯機を傷めるおそれがあります。必ず取り出してください。

■衣類の絵表示に従って洗う

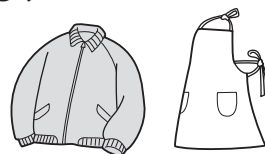
■色物と白物、厚物と薄物を分けて洗う

■大きく軽い洗濯物は、少しずつ洗濯する

- サイズが大きく軽い洗濯物は水に浮きやすく、一度にたくさん洗うと、給水時に水が飛び散って床をぬらしたり、脱水時にはみ出して衣類や洗濯機を傷めるおそれがあります。

■毛玉や糸くずの出るものは、裏返しにする

■ほこりやどろ、砂などがついた服は前もってはたき落とす

- 衣類にどろなどがついたままですと洗濯機の故障の原因になります。

■エプロンなどのひもは結び、ファスナーは閉める

- 衣類や洗濯機を傷めるおそれがあります。

■傷みやすい衣類は、洗濯ネットに入れる

- レースのついた（ランジェリー、ナイロンストッキング、化繊の薄物など）傷みやすい衣類は、市販の洗濯ネットに入れてください。
- ワイヤー入りのブラジャーは必ず市販の洗濯ネット（細かい網目）に入れてください。ワイヤーが飛び出して衣類や洗濯機を傷めるおそれがあります。

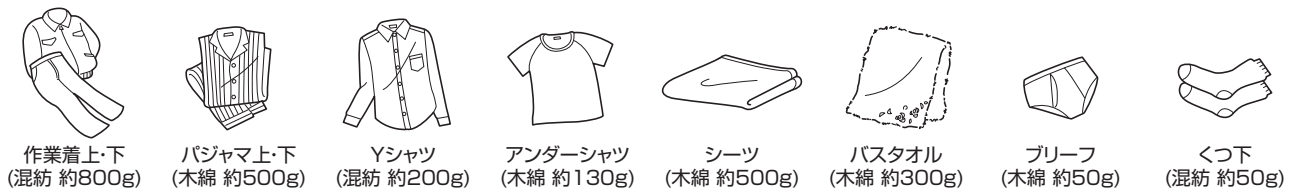
洗濯量と洗剤量

洗濯物について

- 一度に洗う量は、規格以下の容量で洗ってください。本機の最大容量は、4.2kgです。
- 洗濯物の量が多いときは、無理をせずに何回かに分けて洗ってください。

洗濯物の質量の目安

作業着上･下（混紡 約800g）
パジャマ上･下（木綿 約500g）
Yシャツ（混紡 約200g）
アンダーシャツ（木綿 約130g）
シーツ（木綿 約500g）
バスタオル（木綿 約300g）
ブリーフ（木綿 約50g）

くつ下（混紡 約50g）

※洗濯容量は、JIS（日本工業規格）規定の布地を使用した場合のものです。洗濯物の厚さ、大きさ、種類により洗える量が変わります。

洗濯量と洗剤量の目安

洗濯量（目安）	水　量	コンパクト洗剤		粉石けんなど	液体洗剤	柔軟剤
		水30Lに対して20gのタイプ	水30Lに対して15gのタイプ	水30Lに対して40gのタイプ	水30Lに対して40mlのタイプ	水30Lに対して6.6mlのタイプ
2.5kg～4.2kgまで	39L	約26g	約20g	約52g	約52ml	約8.6ml
	36L	約24g	約18g	約48g	約48ml	約7.9ml
	33L	約22g	約17g	約44g	約44ml	約7.3ml
	30L	約20g	約15g	約40g	約40ml	約6.6ml
1.5kg～2.5kgまで	27L	約18g	約14g	約36g	約36ml	約5.9ml
	24L	約16g	約12g	約32g	約32ml	約5.3ml
0.5kg～1.5kgまで	21L	約14g	約11g	約28g	約28ml	約4.6ml
	18L	約12g	約9g	約24g	約24ml	約4ml
0.5kg以下	15L	約10g	約8g	約20g	約20ml	約3.3ml
	12L	約8g	約6g	約16g	約16ml	約2.6ml

家庭用品品質表示法の改正に伴い、メーカーにより洗剤の標準使用量（水30Lに対し○○g）が表示されていないものもあります。洗剤容器にある「使用量の目安」を参考にしてください。

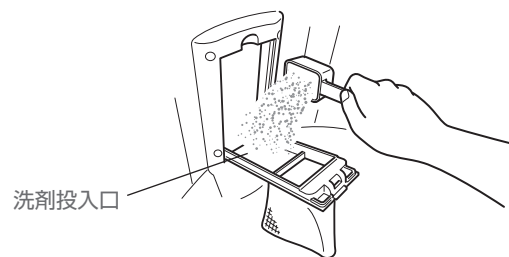
お知らせ

- 洗剤の分量は、上の表を参考にしてください。必要な洗剤量は、洗剤メーカーや銘柄によって異なります。製品の水量表示に合わせて洗剤量を計算し、ご使用ください。
- 汚れが多い場合は、洗剤量を調整してください。
- 洗剤は入れ過ぎないようにしてください。すすぎ不十分になり、衣類に残ったり変色の原因になります。
  特に軽い汚れのときは、液体洗剤では泡が多くなりますので、洗剤を入れ過ぎないようにご注意ください。（軽い汚れとは、汗やほこりの様な脂分をほとんど含まない汚れのことです。）

洗剤について

洗 剤

■ 粉末洗剤

糸くずフィルターの洗剤投入口に入れる

- 洗剤を入れたあとは、必ず糸くずフィルターを閉じてください。
- 洗剤投入口がぬれている場合は、よく拭いてから洗剤を入れてください。
- 粉石けんは、洗剤投入口に入れないでください。

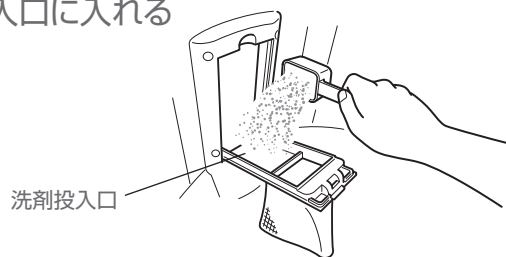
P10参照

■ 液体洗剤

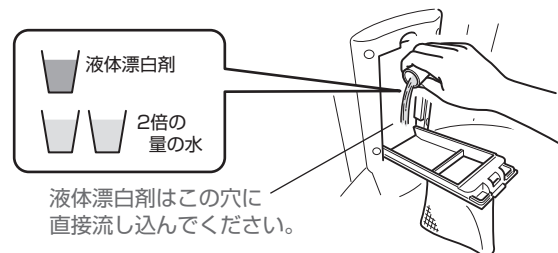
洗剤投入口の奥の穴に流し込む

漂白剤

■ 粉末漂白剤

洗剤と反対側の糸くずフィルターの
洗剤投入口に入れる

■ 液体漂白剤

水で薄め、洗剤投入口の奥の穴に流し込む

- 2倍の量の水で薄めて流し込んでください。

ご注意

色物には、色物専用の漂白剤を使用してください。

塩素系の漂白剤は、直接洗濯物にかけないでください。

- 変色など洗濯物を傷める原因になります。

柔軟剤

柔軟剤投入口に
少しずつ流し込む

カバーを開いて、柔軟剤を入れます。

※カバーは柔軟剤投入後は必ず閉めてください(カチッと音がするもしくはクリック感を感じる)。
カバーが開いている場合は、衣服の破損や機器の破損の原因となる場合があります。

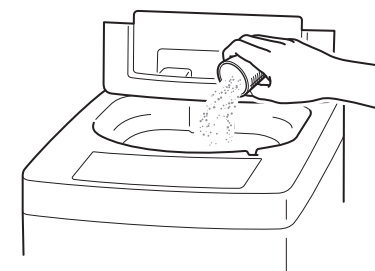
- 柔軟剤は、**最後のすすぎ**のときに自動的に投入されます。
- 「洗い」「すすぎ」の脱水中に一時停止はしないでください。柔軟剤の投入時期が早まり、有効に働きません。
- 柔軟剤を長時間(約12時間以上)入れたままにしないでください。固まってしまうことがあります。
- 濃縮タイプは固まるおそれがあるため、2倍の量に薄めてからご使用ください。
- 柔軟剤投入口はいつも同じ場所にあるとはかぎりません。入れにくい場所にあるときは洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。

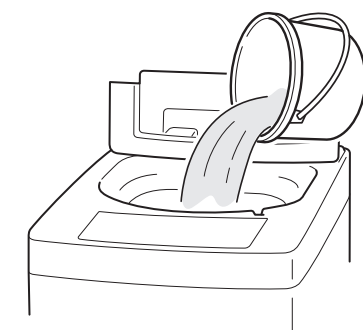
粉石けんについて

粉石けんを使うには

溶け残りを防ぐため、粉石けんはあらかじめよく溶かしてからお使いください。

洗濯機で直接溶かす場合

1. 電源を入れ水量12Lに設定し、スタートボタンを押して運転(給水)する
2. 給水が終わったら一時停止して、粉石けんを入れる
3. 約1分程度運転したら運転を停止し、電源を入れ直す
4. 洗濯物を入れ、ふたを閉める
5. 洗濯する

溶けにくい場合

1. バケツに30℃前後のぬるま湯を、約5L用意する
2. よくかき回しながら、粉石けんを少しずつ入れる
   - 粉石けんが残らないように、よくかき混ぜてください。
3. 洗濯物を入れ、ふたを閉める
4. コースを選択し、スタートボタンを押す
5. 給水が始まったら一時停止して、溶かした粉石けんを入れる
6. スタートボタンを押して運転を再開する

ご注意

粉石けんを使用した場合は、十分にすすぎを行ってください。

- 粉石けんは合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすく、黄ばみやにおいの原因になります。

粉石けんは入れすぎないようにご注意ください。

- 粉石けんの使用量が多すぎたり水温が低いと、完全に溶けずに衣類に残ったり、ホースや洗濯･脱水槽に付着したあとにはがれて浮き上がり、洗濯物を汚すことがあります。

粉石けんは洗剤投入ケースに入れないでください。
また、予約タイマー運転には粉石けんを使用しないでください。

- 固まるおそれがあります。

洗濯のしかた

各コースについて

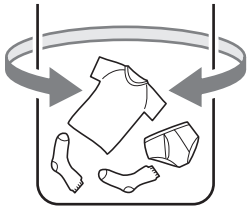
コース	洗濯容量	おすすめの洗濯物の種類
標準	～4.2kg	ふだんの洗濯に… P12参照
念入り	～4.2kg	ジーンズなどの厚手の衣類を洗うときに… P13参照
お急ぎ	～1.5kg	汚れの少ないものを、手早く洗いたいときに… P14参照
毛布	P19参照	毛布など大物を洗うときに… P19参照
風乾燥	～2.0kg	室内干しなど干し時間を短縮したいときに… P18参照
ソフト	～2.5kg	大切(デリケート)な衣類などを洗うときに… P21参照
ドライ	1.0kg	ドライマーク衣類などを洗うときに… P22～24参照
槽洗浄	−	洗濯・脱水槽の定期的なお手入れに… P30参照

■ 各コースの行程と洗濯時間の目安(初期設定)

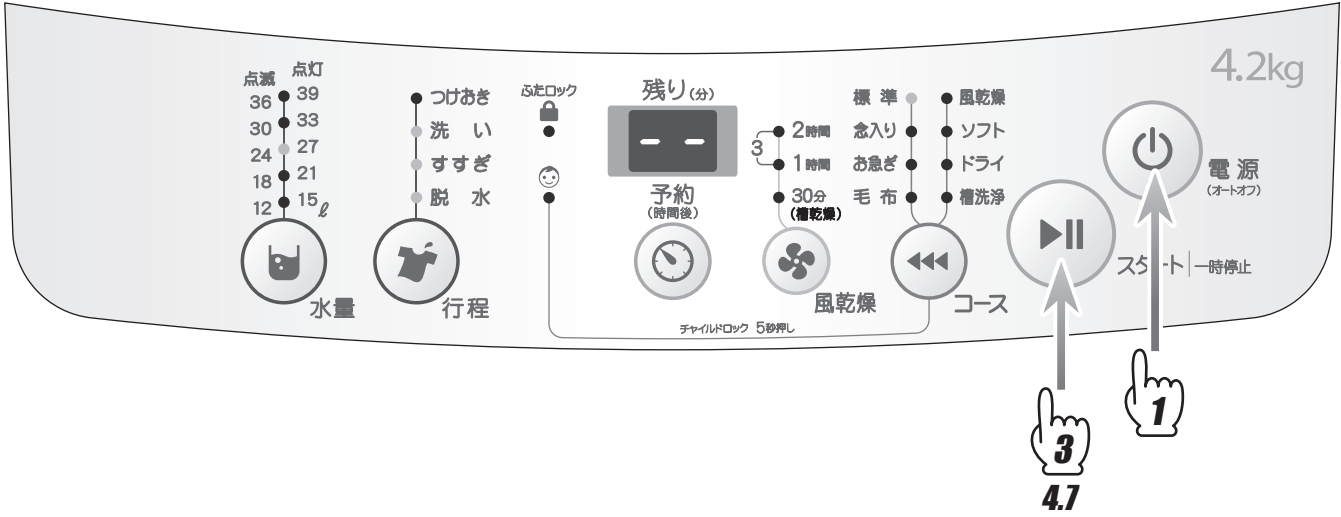
コース	水量	洗い	すすぎ	脱水	所要時間
標準	21～39L 無段階自動設定	10～16分 の自動設定	シャワーすすぎ 1回 ＋ ためすすぎ 1回	5分	32～37分
念入り	27L	20分	ためすすぎ 2回	6分	94分
お急ぎ	18L	4分	ためすすぎ 1回	2分	10分
毛布	39L	12分	ためすすぎ 2回	6分	48分
風乾燥	ー	ー	ー	30分	30分
ソフト	27L	3分	ためすすぎ 2回	3分	26分
ドライ	39L	4分	ためすすぎ 2回	2分	27分
槽洗浄	39L	11時間	ためすすぎ 1回	32分	12時間

- 所要時間は、水道水圧・排水条件により変わります。表は、給水量が毎分15Lのときの目安です。
- 洗濯・脱水槽にあらかじめ水があるときや、水量の設定を変更したときは、所要時間が変わる場合があります。
- 念入りコースは初期設定に「つけおき」行程が入っているため、所要時間が長くなっています。

布量検知(ファジープログラム)

『標準』コースを選択した場合は、運転開始後にファジープログラムが作動し、布量を自動検知して、「水量」「洗い時間」を自動設定します。

お知らせ

- 『標準』コース自動運転時の水量は、無段階に自動設定されます。
- 洗濯・脱水槽に水が入っている場合は、布量を検知できません。この場合、水量は「27L」と表示されます。洗濯量に応じた水量を設定してください。 P8参照
- ぬれている洗濯物を入れた場合は、水量が高く設定されることがあります。洗濯物に応じた水量を設定してください。 P8参照

標準コース 洗濯容量 ～4.2kgまで

1 水栓を開き、(電源)を押す

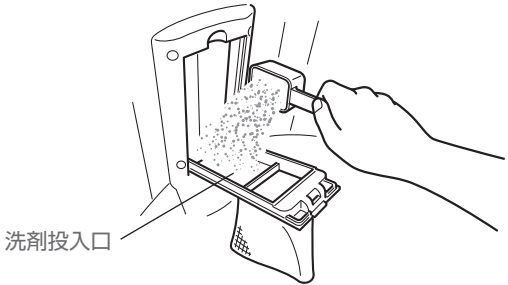
2 ふたを開け、洗濯物を入れる

3 ふたを閉め (スタート/一時停止) を押す

- 運転を開始します。
- 布量を自動検知して、水量を表示します。

4 水量が表示されたら

 を押して一時停止する

5 ふたを開け、洗剤投入口に洗剤を入れる P9参照

6 柔軟剤を使う場合は

柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

- 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。 P9参照

7 ふたを閉め を押す

- 運転を再開します。
- 注水が完了すると、残り時間を表示します。

8 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

お願い

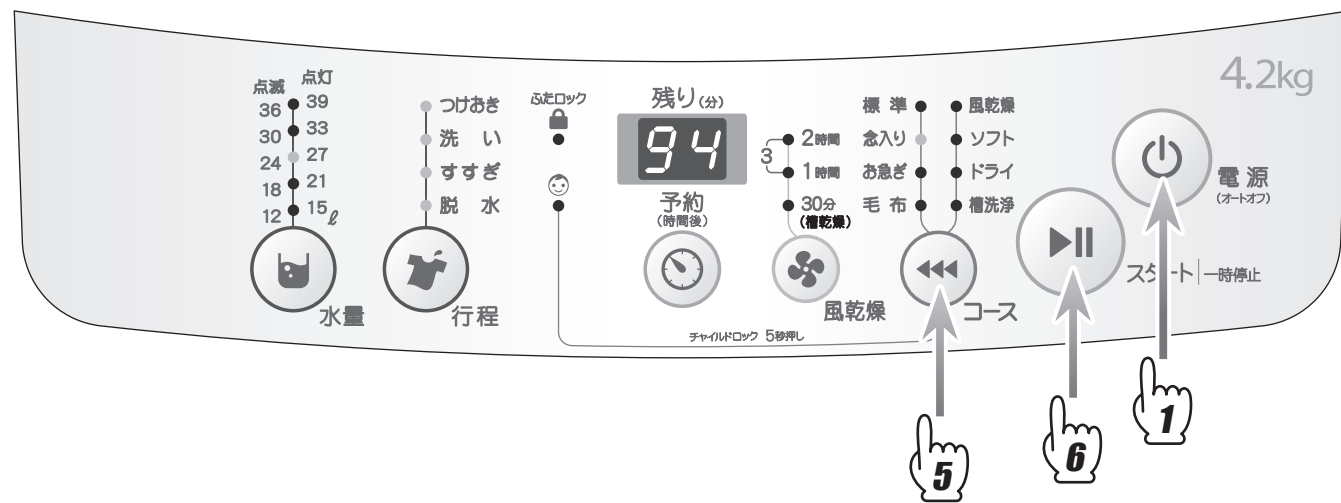
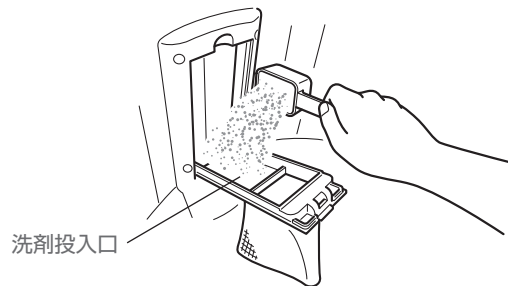
洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。

- 万一の水漏れを防止するためです。

洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。

- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

洗濯のしかた（つづき）

念入りコース 洗濯容量 ～4.2kgまで

1 水栓を開き、電源ボタンを押す

2 ふたを開け、洗剤投入口に洗剤を入れる P9参照

3 柔軟剤を使う場合は

柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

- 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。P9参照

4 洗濯物を入れる

5 コースボタンを押して『念入り』を選ぶ

6 ふたを閉め を押す

- 運転を開始します。

7 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

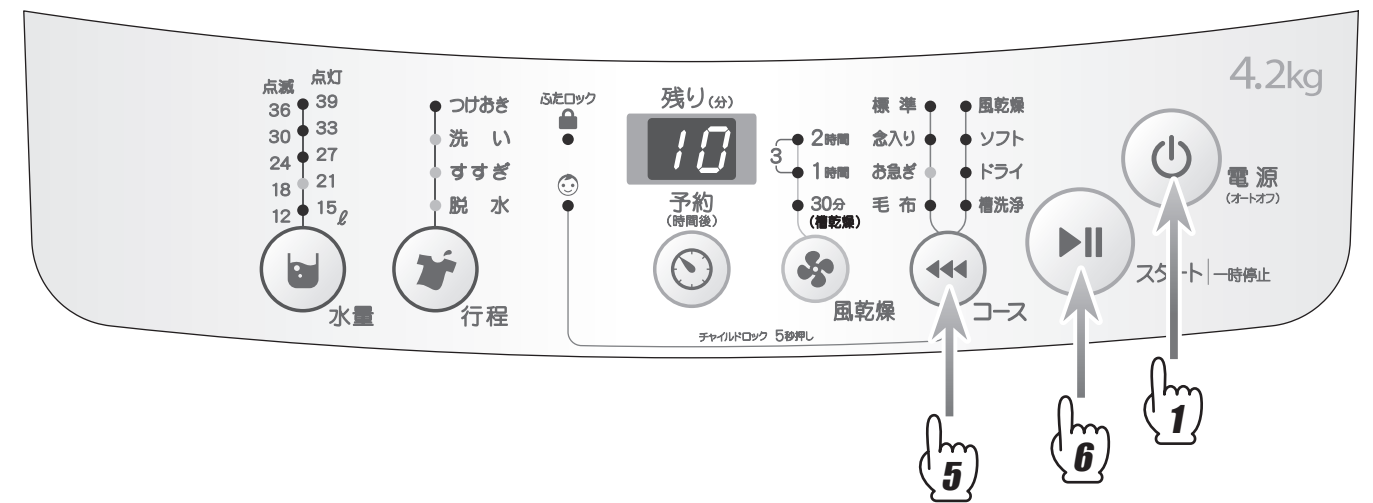
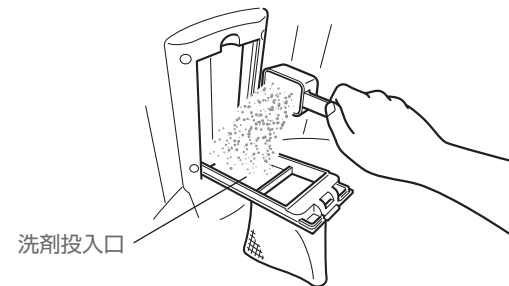
お願い

洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。

- 万一の水漏れを防止するためです。

洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。

- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

お急ぎコース 洗濯容量 ～1.5kgまで

1 水栓を開き、電源ボタンを押す

2 ふたを開け、洗剤投入口に洗剤を入れる P9参照

3 柔軟剤を使う場合は

柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

- 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。P9参照

4 洗濯物を入れる

5 コースボタンを押して『お急ぎ』を選ぶ

6 ふたを閉め スタート／一時停止ボタンを押す

- 運転を開始します。

7 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

お願い

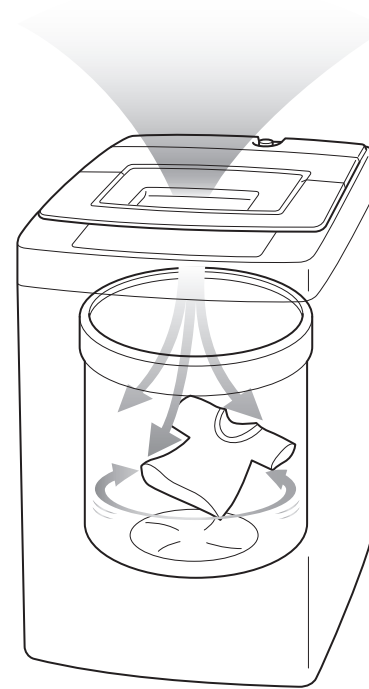
洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。

- 万一の水漏れを防止するためです。

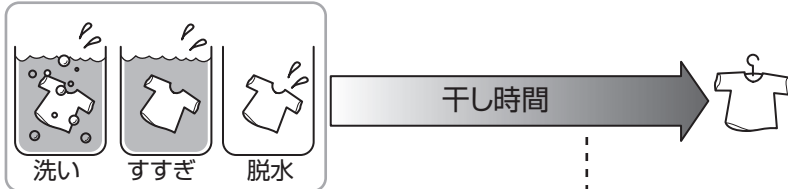
洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。

- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

風乾燥 （化繊）～2.0kgまで

「風乾燥」とはヒーターを使わず、脱水槽を高速回転させ、遠心力と通風口から取り込んだ空気で衣類の水分を飛ばす機能です。
室内干しなどの乾燥時間を短縮することができるので、夜干して朝乾くなど、便利にお使いいただけます。
また、途中で洗濯物をほぐすためにかくはんを行います。

室内干しなどの乾燥時間の短縮

- ジメジメ時間が短いため、部屋干し特有のイヤな臭いを抑えられます。
- 化繊2.0kg以下なら、約3時間でほぼ乾燥できます。

■普通の洗濯

■風乾燥した場合

- 梅雨時などの乾きにくいとき
- 夜しか洗濯できない
- 干し時間が短いため紫外線による衣類のダメージも少ない

熱に弱いデリケートな衣類の脱水

熱を使わずに乾かすため、下着や水着、化繊のブラウス等熱に弱い衣類も安心です。

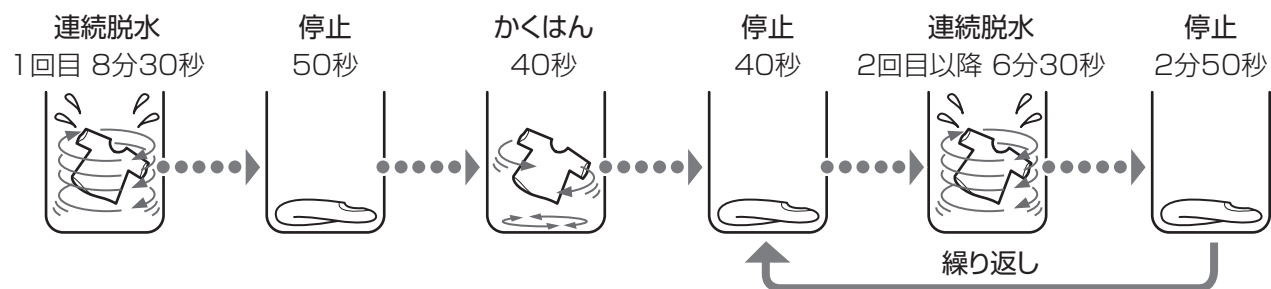
- 下着や水着など外に干したくない

洗濯槽の黒カビ抑制

日常のお洗濯で「風乾燥」を利用すると槽内も乾燥でき黒カビの発生を抑えます。

- 2ヶ月に一度のお手入れが楽

風乾燥の動作

「風乾燥」運転は下図の動作を繰り返します。

- タイマー式脱水ですので、乾きぐあいに関係なく終了します。衣類の量·種類·気温·湿度·季節·据え付け場所により乾きぐあいが異なることがあります。
- 風乾燥の通気口は、ふたの取っ手部にあります。ふたの上に物を置くなどした場合に、乾きぐあいが異なることがあります。

⚠注意

マット類は脱水しない

マットが洗濯·脱水槽に付着したり、衣類を汚すことがあります。また、素材によっては化学変化により自然発火するおそれがあります。

防水性のマット·シートや衣類、水を通しにくい繊維製品は、洗い·すすぎ·脱水·風乾燥をしない

洗濯物が飛び出したり、異常振動で洗濯機が転倒してけがをしたり、洗濯機·かべ·床などの破損、衣類の損傷などのおそれがあります。洗濯物の絵表示を見て洗濯時の参考にしてください。

※足拭きマットなど固くて厚いもの、オムツカバー、サウナスーツ、ウエットスーツ、雨ガッパ、スキーウエア、自転車·バイク·自動車カバー、寝袋など

風乾燥してはいけないもの

色落ちしやすいもの

- 長時間かけてかくはんするので、他の衣類に色が移ります。

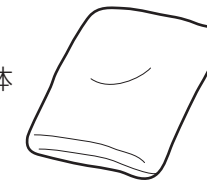
型くずれしやすいもの

- 絹や皮製品などは縮んだり、型くずれをおこすことがあります。

しわが気になるもの

- ブラウスや綿100%シャツなど

掛け布団、毛布など

- 洗濯物が傷んだり、洗濯機本体の故障の原因になります。

ウールなどの獣毛製品（その混紡製品）

- 縮む、毛が抜ける、型くずれします。

吊り干し、平干し、ドライなどの絵表示があるもの

防水性のもの

- 衣類が傷んだり、洗濯機の故障の原因になります。（雨ガッパ、スキーウエアなど）

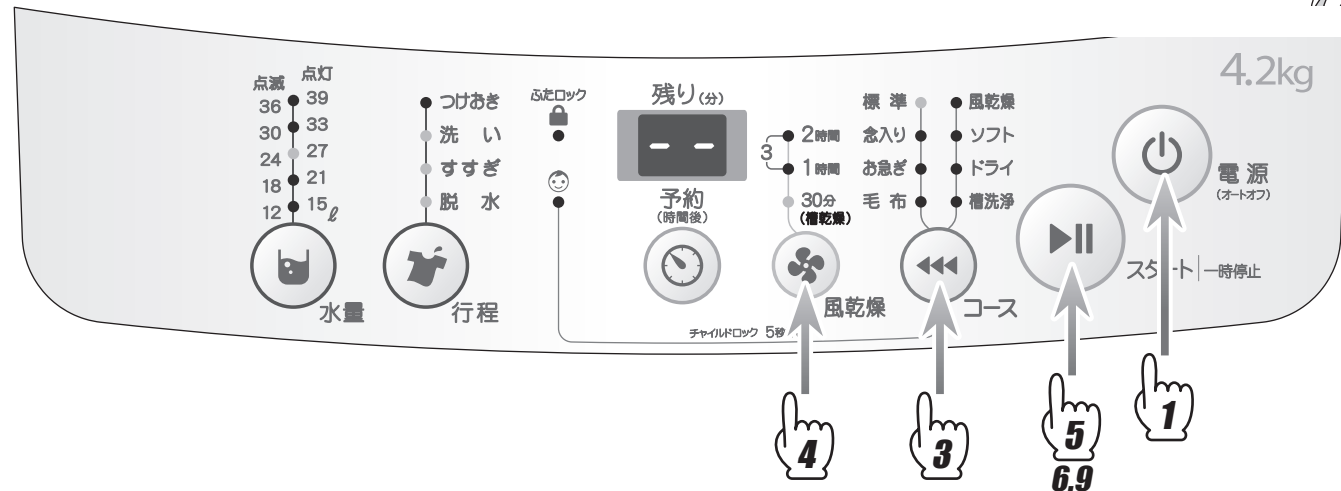
お願い

脱水前に衣類の材質表示をよく確認してください。

- 「風乾燥」機能は高速回転の時間が長い点、また、かくはんして布をほぐす点から、この欄に記載されている衣類は「風乾燥」に向いていません。

洗濯のしかた（つづき）

洗濯コース＋風乾燥 洗濯・脱水容量 ～2.0kgまで

■洗濯コース（洗濯・すすぎ・脱水）を行ったあとに続けて「風乾燥」運転を行います。

※標準コースを基本に説明します。「念入り」「お急ぎ」コースの場合は手順4の次は手順7にお進みください。

1 水栓を開き、（電源）を押す

2 ふたを開け、洗濯物を入れる

3 （コース）を押してお好きなコースを選ぶ

- 風乾燥が追加できるコースは、「標準」「念入り」「お急ぎ」コースのみです。

4 （風乾燥）を押して風乾燥の時間を選ぶ

- 30分、1時間、2時間、3時間の設定ができます。

5 ふたを閉め を押す

- 運転を開始します。
- 布量を自動検知して、水量を表示します。

6 水量が表示されたら

 を押して一時停止する

7 ふたを開け、洗剤投入口に洗剤を入れる P9参照

8 柔軟剤を使う場合は

柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

- 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。P9参照

9 ふたを閉め を押す

- 運転を再開（開始）します。
- 注水が完了すると、残り時間を表示します。

10 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

お願い

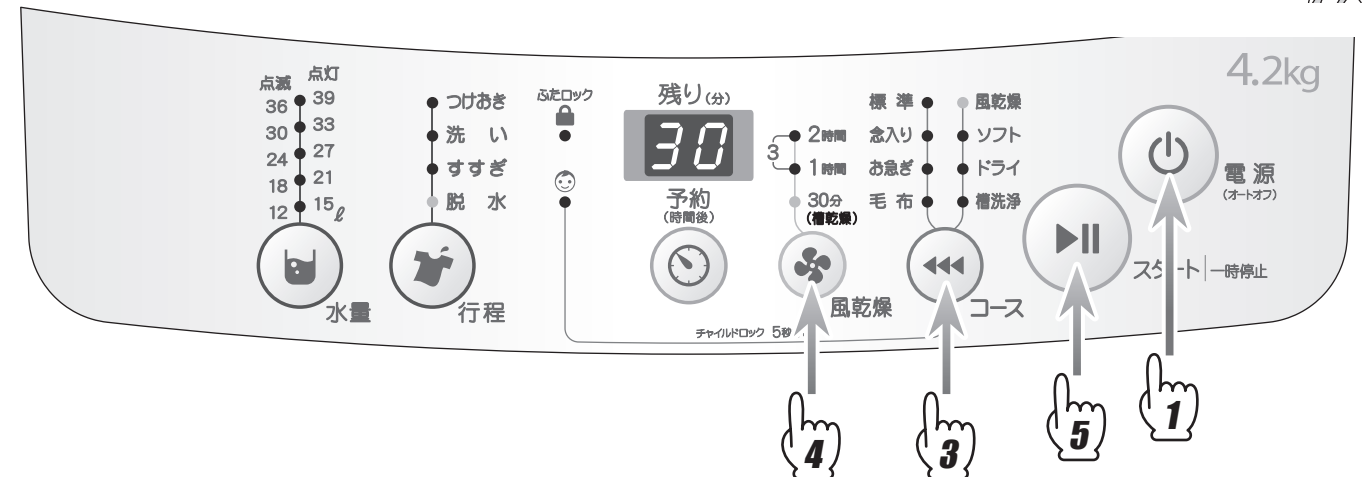
洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。

- 万一の水漏れを防止するためです。

洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。

- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

風乾燥コース 脱水容量 ～2.0kgまで

■「風乾燥コース」のみを行います。

1 （電源）を押す

- 水栓を開く必要はありません。

2 脱水した洗濯物を入れる

3 （コース）を押して「風乾燥」コースを選ぶ

- 予約運転はできません。

4 （風乾燥）を押して風乾燥の時間を選ぶ

- 30分、1時間、2時間、3時間の設定ができます。

5 ふたを閉め （スタート）を押す

- 運転を開始します。

6 運転終了

- 風乾燥の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

お願い

風乾燥終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。

- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

毛布コース 洗濯容量 マイヤー･タクト毛布～2.1kgまで 綿毛布～1.5kg以下のもの2枚まで

毛布、夏掛けふとん、シーツ、カーテンなど大物を洗うことができます。

■洗濯できる毛布

40 手洗イ30 表示のある綿毛布およびアクリル、またはポリエステル100%のマイヤー･タフト毛布

- 綿毛布
  大きさ……140cm×200cm以下
  質量………1.5kg以下のもの2枚
- マイヤー･タフト毛布
  大きさ……140cm×200cm以下
  質量………2.1kg以下のもの

ご注意

電気毛布は、洗わないでください。

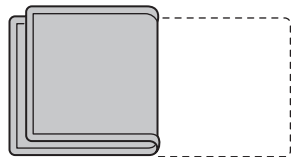
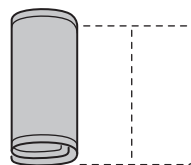
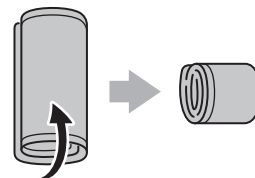
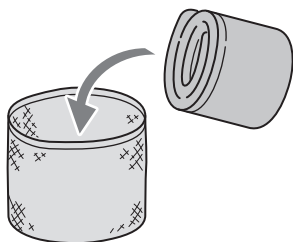
- 洗える電気毛布については、電気毛布の取扱説明書に従ってください。

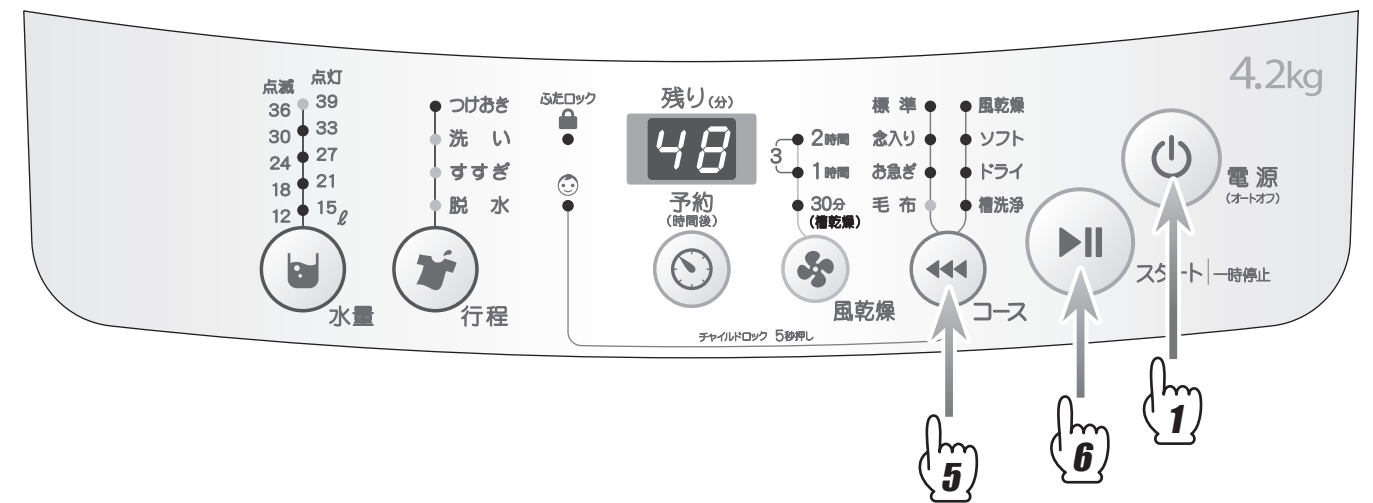
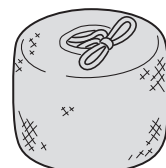
準備 洗濯物や洗濯機を傷めないために正しく準備してください。

❶ 長い方を2つ折りにする

- 綿毛布を2枚以上入れる場合は、重ねて折りたたんでください。

❷ さらに同じ方向に、3つ折りにする

❸ 巻く

❹ フチのある方を下にして、洗濯ネット（市販品）に入れる

❺ 洗濯ネットのひもを固く結びリボン結びにする

- リボン部は洗濯ネットと毛布の間にはさみ込んでください。

1 水栓を開き、を押す

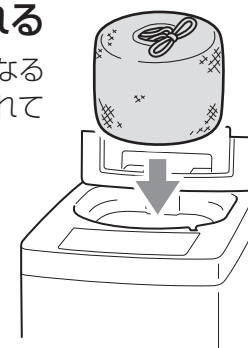
2 ふたを開け、洗剤投入口の奥の穴に液体洗剤を入れる P9参照

- 洗剤は入れすぎないようにしましょう。入れすぎると泡が立ちすぎたり、すすぎが不十分になります。また、洗剤は溶けやすい液体洗剤をお勧めします。

3 柔軟剤を使う場合は
柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

- 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯･脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。P9参照

4 準備した毛布を入れる

- 洗濯ネットの口側が上になるように、洗濯･脱水槽に入れてください。

5 ◀◀◀を押して『毛布』を選ぶ

6 ふたを閉め を押す

- 運転を開始します。

7 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。
- 必ず、糸くずフィルターを掃除してください。

お願い

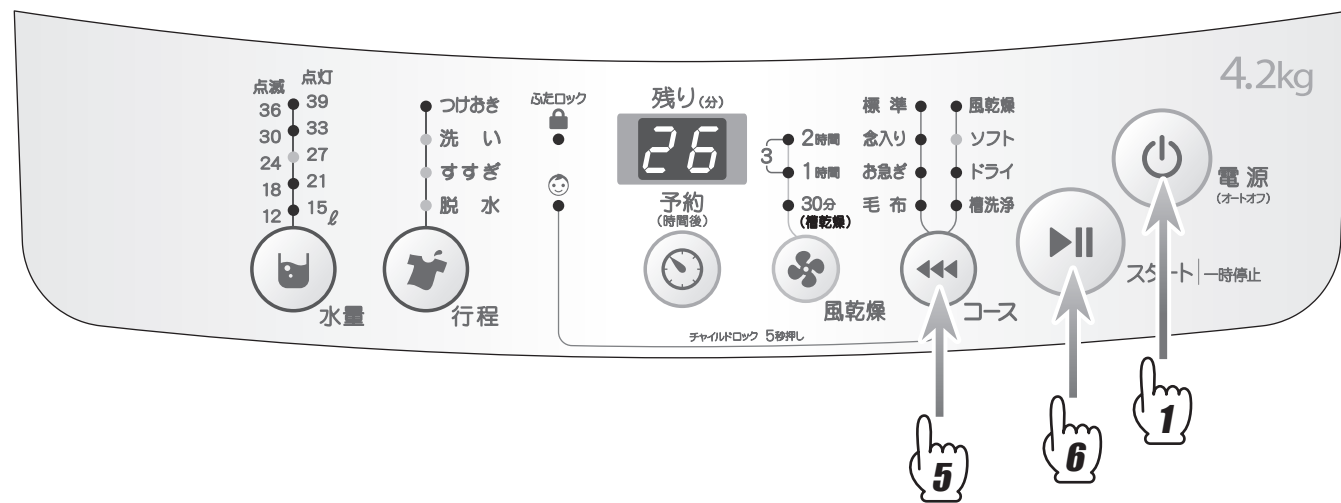
毛布やシーツなど大物を洗う場合は、必ず市販のネットに入れてください。 また、毛足の長さや生地の厚みにより、ネットに入らない場合は洗濯できません。

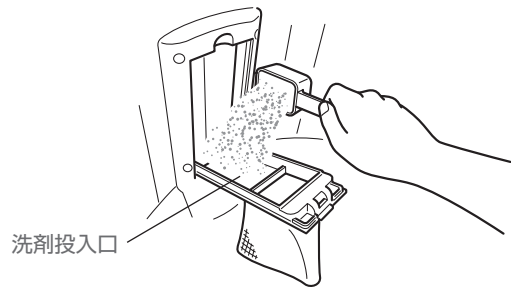
- ネットに入れずに洗濯すると、洗濯物が洗濯･脱水槽から飛び出したり、脱水中に異常振動し、洗濯機･壁･床などの破損、衣類の損傷などのおそれがあります。

一言メモ！ 毛布洗いのポイント

- 毛布のフチなど汚れのひどい部分は、あらかじめ手でもみ洗いをしましょう。
- 洗剤を入れすぎないようにしましょう。
- 水温が低いときは、ぬるま湯（約30℃）で洗うと汚れ落ちがよくなります。

洗濯のしかた（つづき）

ソフトコース　洗濯容量　～2.5kgまで

（ドライ禁止マーク）表示のある衣類は洗えません。

1 水栓を開き、（電源）を押す

2 ふたを開け、洗剤投入口に洗剤を入れる P9参照

洗剤投入口

3 柔軟剤を使う場合は
柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

- 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。P9参照

4 洗濯物を入れる

5 （コース）を押して『ソフト』を選ぶ

6 ふたを閉め（スタート）を押す

- 運転を開始します。

7 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

お願い

洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。
- 万一の水漏れを防止するためです。

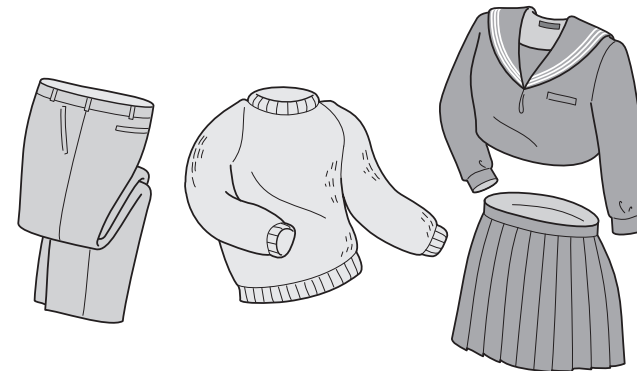
洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。
- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

ドライコース　洗濯容量 ～1.0kgまで

ドライコースは多めの水量でデリケートな衣類やドライマーク衣類をやさしく洗うコースです。

洗濯できるもの

（手洗イ30）や（ドライ禁止マーク）表示のあるもの

- 学生服、セーラー服
- スラックス、スカート
- ブラウス、シャツ、ランジェリー（絹、麻）
- セーター、カーディガン（ウール、アンゴラ、カシミヤ）

洗濯できないもの

- 皮革製品、皮革装飾のあるもの
- 羽、毛皮などの装飾のあるもの
- 絹、レーヨン、キュプラおよびその混紡品（裏地として使用しているものも不可）
- スーツ、コート、ネクタイなどの型くずれしやすいもの
- コーティング加工、樹脂加工（接着剤を使用したもの）、エンボス加工を施したもの
- ちりめんなどの強くよじった糸（強撚糸）を使用したもの
- ベルベットなどのパイル地、別珍など
- 防水加工品（スキーウエアなど）
- 色落ちしやすいもの
- 取扱い絵表示および素材表示のないもの

洗剤について

（ドライ禁止マーク）表示の衣類

- ドライマーク衣類専用の液体洗剤を使用してください。

（手洗イ30）表示のある衣類

- ドライマーク衣類専用の液体洗剤以外に液体中性洗剤も使用できます。

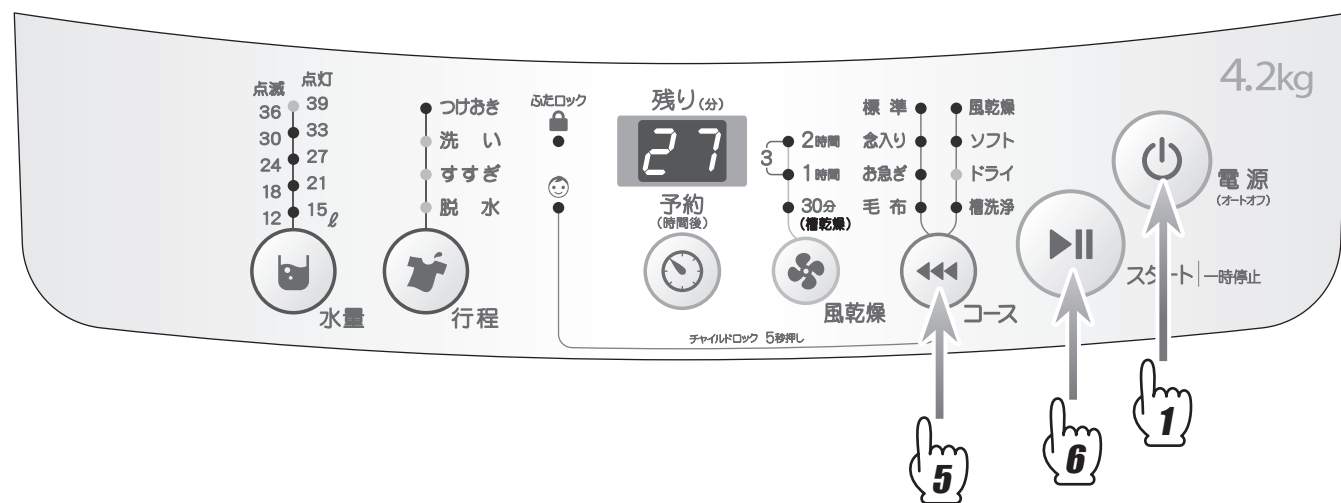
ご注意

漂白剤は使用しないでください。
- 漂白剤は、強アルカリ性のため衣類を傷めます。

洗濯前の準備

- シミがあるときは裏側にタオルをあて洗剤をつけてタオルなどで軽く押さえます。
- 汚れやすいえり、袖口などは洗剤をつけてブラシなどで軽くたたいて落としておきます。
- ボタンやししゅうの付いている衣類は裏返します。
- ボタンやファスナーは閉めてください。
- 色落ちしそうな衣類は、白いタオルなどに洗剤を含ませ、目立たないところに押し当てて確認してください。色落ちするものは洗わないでください。

ドライコース つづき

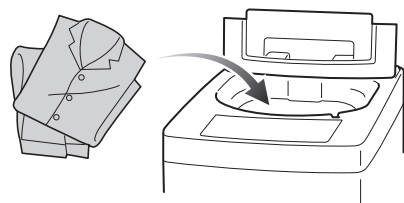
1 水栓を開き、(電源)を押す

2 ふたを開け、洗剤投入口の奥の穴にドライマーク衣類専用の液体洗剤を入れる P9参照

- 表示の衣類を洗濯する場合は、必ずドライマーク衣類専用の液体洗剤をご使用ください。

3 柔軟剤を使う場合は
柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

- 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。 P9参照

4 洗濯物を入れる

- 洗濯物はたたんで入れてください。
- 布傷みが気になる場合は、市販の目の粗い洗濯ネットに入れてください。

5 (コース)を押して『ドライ』を選ぶ

6 ふたを閉め (スタート/一時停止) を押す

- 運転を開始します。

7 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

お願い

洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。

- 万一の水漏れを防止するためです。

洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。

- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

干しかた ※必ず、風通しの良い日陰に干してください。

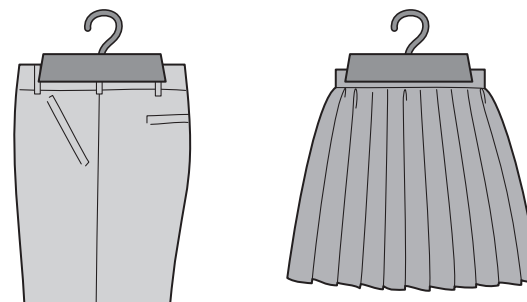
ウール、アンゴラ、カシミヤなどのセーター

- 形を整えて裏返し、平干しをしてください。

スラックス、スカート

- 形を整えて、ハンガー干しをしてください。伸びやすいものは平干しをしてください。

学生服、ブラウスなど

- 形を整えて、ハンガー干しをしてください。
- ハンガーにタオルを巻いて、肩幅にあわせてお使いいただくと型くずれしにくくなります。

お願い

衣類乾燥機を使用する場合は、おしゃれ着乾燥のできるものをご使用ください。

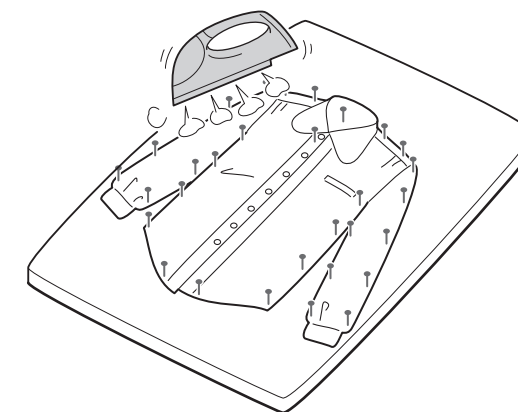
仕上げかた

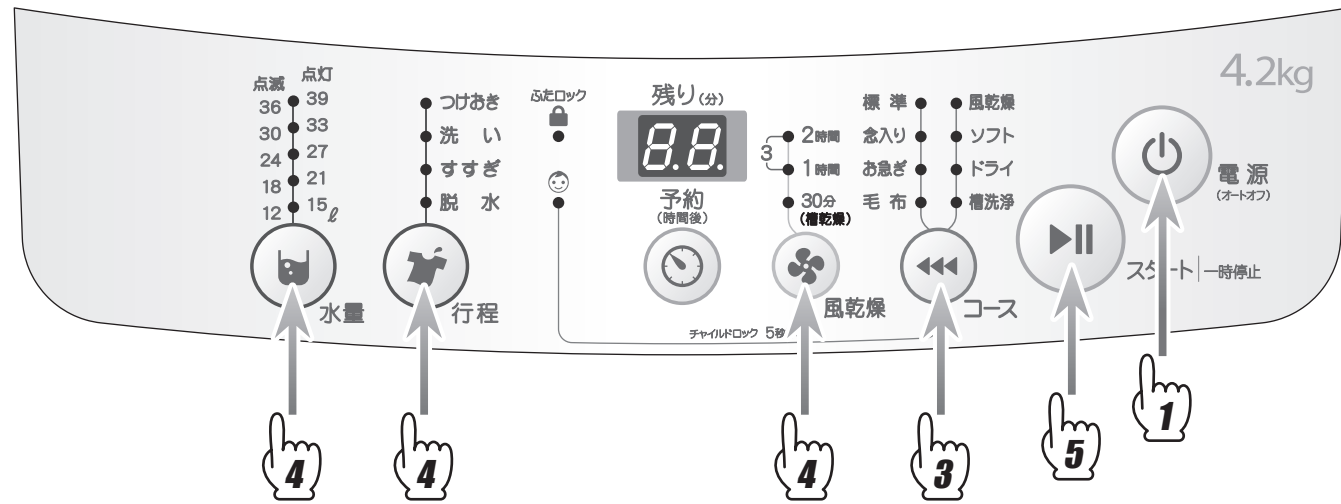
スチームアイロンで形を整える

- スチームアイロンを浮かせた状態でスチームをかけ、形を整えます。

縮んでしまったときは…

- 衣類を伸ばしたい寸法に広げてマチ針を打ち、スチームアイロンを浮かせた状態でスチームをたっぷりかけ、そのままの状態で乾燥させます。

※洗濯前に型紙を取っておくと便利です。

洗濯のしかた（つづき）

内容を個別に設定して洗濯したい

1 水栓を開き、（電源）を押す

2 ふたを開け、洗剤・洗濯物を入れる

P9参照

3 （コース）を押してコースを選ぶ

4 （水量）（行程）（風乾燥）を押して、内容・時間を設定する

- コースにより設定できる内容が異なります。右の表を参考に、設定してください。

5 ふたを閉め （スタート/一時停止） を押す

- 運転を開始します。

6 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

■各コースで設定・選択できる機能 （○=可、×=不可）

コース	水量	風乾燥	予約	つけおき	洗い	すすぎ	脱水	高濃度洗浄
	設定可否			選択可否				
標　準	○	○	○	○	○	○	○	○
念入り	○	○	○	○	○	○	○	○
お急ぎ	○	○	○	○	○	○	○	○
毛　布	×	×	○	×	×	×	×	○
風乾燥	×	○	×	×	×	×	×	×
ソフト	○	×	○	×	○	○	○	×
ドライ	×	×	○	×	×	×	×	×
槽洗浄	×	×	×	×	×	×	×	×

- 槽洗浄コースで衣類は洗えません。
- 操作パネル部（各部の名称）も合わせてご覧ください。P5·6参照
- 高濃度洗浄は設定・選択できません。
  高濃度洗浄：高濃度洗浄液から洗い始め、繊維のすみずみまで洗剤を浸透させ、汚れを芯から引き剥がします。
- **つけおき**：汚れの多いものを洗い行程前につけおきすることで、洗剤液が衣類にしみ込み、洗剤効果を上げます。
  ※数分おきにパルセーターを回して洗剤液を万遍なく衣類に浸透させます。
  ※傷みやすい化繊・ウール・絹や色落ちしやすい衣類は使用しないでください。

お願い

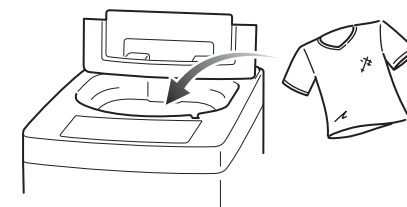
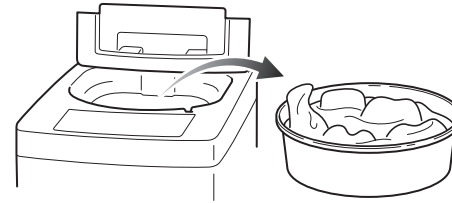
洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。
- 万一の水漏れを防止するためです。

洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。
- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

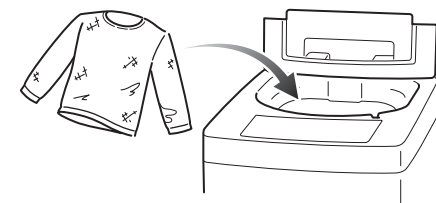
上手なお洗濯

洗濯液を2度使う

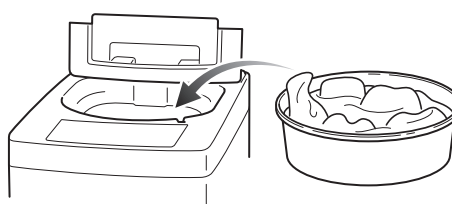
1 1度目の洗濯物を入れて、『洗い』のみの運転を行う P25参照

- 1度目の洗濯物は汚れの少ないものを洗い、汚れのひどいものは2度目に洗いましょう。

2 1度目の洗濯物を一時的に取り出す

3 そのまま2度目の洗濯物を入れ、お好みのコースで運転する

P11～25参照

- 洗濯物が浮かないように、上から押さえてください。
- 必要に応じて、洗剤を追加してください。

4 お好みのコース運転終了後、2度目の洗濯物を取り出す（2度目の洗濯終了）

5 再び1度目の洗濯物を入れ「すすぎ」「脱水」のみの運転を行う P25参照

（1度目の洗濯終了）

風呂の残り湯を使う

1 電源を入れ、洗濯物を入れる

2 コース・行程を選択し P11～25参照

3 給水が始まったら一時停止し、風呂の残り湯を入れる

- 市販の風呂水用ポンプをお使いいただくと、便利です。

4 ふたを閉めスタートボタンを押して運転を再開する

のりづけ　のりづけできる量：0.5kg以下

1 電源を入れ、のりづけしたい衣類を入れる

2 標準コースにて、「洗い」のみ「水量12L」に設定する P25参照

3 スタートボタンを押して運転（給水）する

4 洗濯が始まりパルセーターが回り始めたら一時停止し、洗濯のりを入れる

- のりの量は、洗濯のりに表示されている分量を目安にしてください。

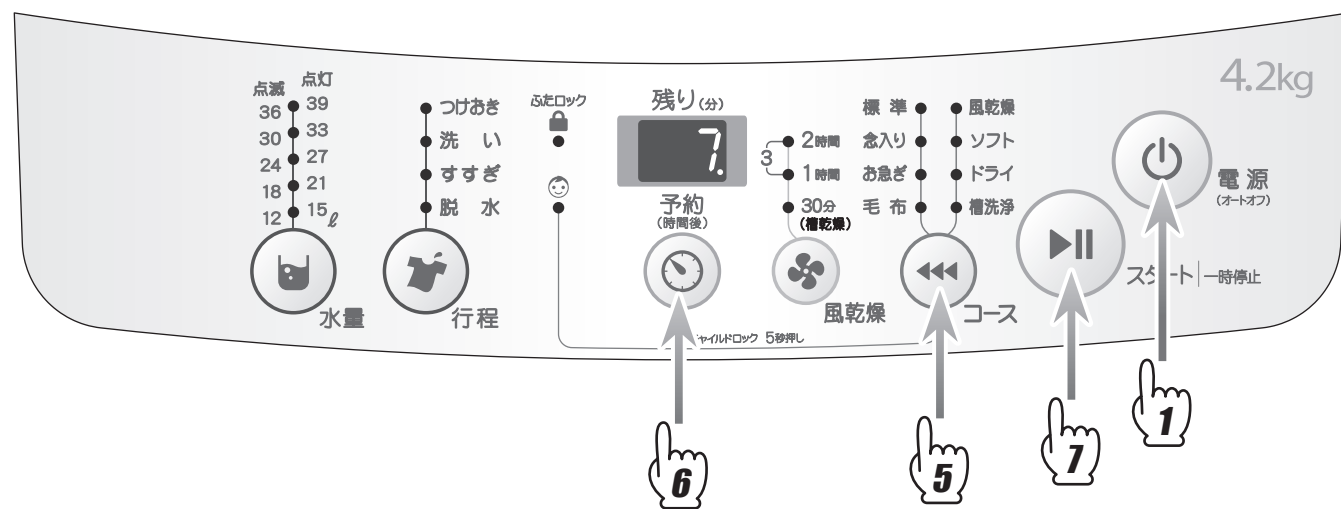
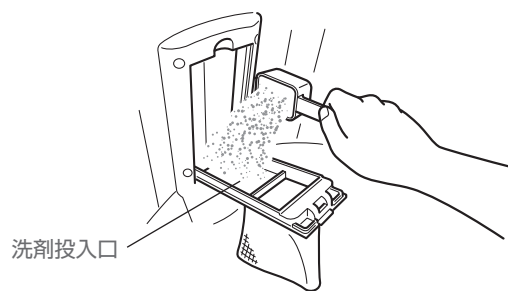
5 ふたを閉めスタートボタンを押して運転を再開する

6 「洗い」のみ終了後、「脱水」のみを設定しスタートボタンを押して運転する

お願い

のりづけ後は、『水量39L』にて「洗い」のみおよび「脱水」のみの運転を行い洗濯・脱水槽を洗浄してください。
- のりが残っていると、故障の原因になります。

予約洗濯

予約タイマー運転

1 水栓を開き、(電源ボタン)を押す

2 ふたを開け、洗剤投入口に洗剤を入れる P9参照

洗剤投入口

3 柔軟剤を使う場合は
柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

- 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。P9参照

4 洗濯物を入れる

5 コース・行程を設定する
P11〜25参照

6 (予約ボタン)を押して、洗濯終了時間をセットする

- 押すごとに1時間単位で、2〜24時間後までの設定ができます。

7 ふたを閉め(スタート/一時停止ボタン)を押す

- 予約ランプ(表示部右下の点)が点滅し、設定したコース・行程が消灯します。

例)7時間後にセットした場合

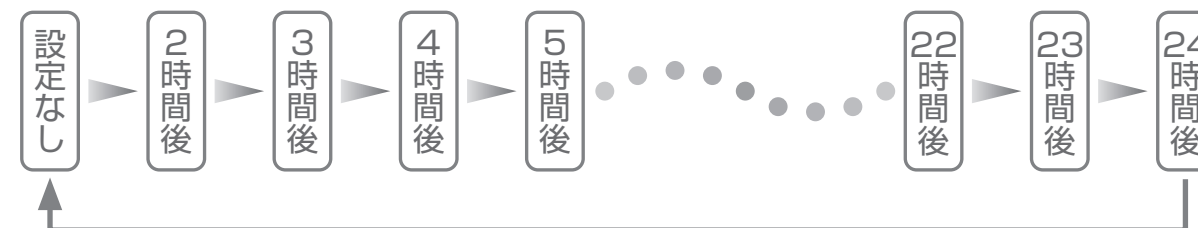
8 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

ご注意
槽洗浄・風乾燥のみコースは、予約タイマーの設定はできません。

洗濯終了までの時間を、2〜24時間後の範囲でセットできます。
睡眠前に予約タイマーをセットしておけば、朝の忙しい時間を有効に活用することができます。

予約タイマーの時間設定について

(予約ボタン)を押すごとに1時間単位で、2〜24時間後までの設定ができます。

セットした内容を…

確認するには?
- 予約タイマー運転中に『予約』ボタンを押します。約5秒間セットしたコース・行程が表示されます。

取り消すには?
- 『電源』ボタンを押して、電源を切ってください。

変更するには?
- 電源を入れ直して、もう一度セットし直してください。

お願い

色移りしやすい衣類は、一緒に洗濯しないでください。

電源プラグを抜いたときや停電したときは、予約タイマー運転は取り消されます。

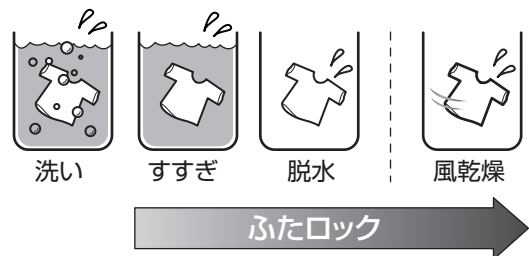
濃縮タイプの柔軟剤は、2倍の量の水で薄めてから使用してください。
また、柔軟剤を長時間(約12時間以上)入れたままにしないでください。
- 固まってしまうことがあります。

予約タイマー運転には、粉石けんを使わないでください。
- 溶けにくく、固まることがあります。

予約タイマー運転中にふたを開けるとエラー「E2」が表示され警告音が鳴りますが、異常ではありません。
- ふたを閉めるとエラー「E2」表示および警告音は消えます。

知っていると便利

ふたロックについて

安全のためにすすぎ以降の行程では自動的にふたがロックされます。

ご注意

ふたロックのランプが点灯中は無理にふたを開けないでください。

- 破損・故障の原因になります。

ふたが開いた状態で脱水運転に入ると、エラー「E2」が表示され運転を停止します。

- ふたを閉めると、運転が再開されます

ふたロックを解除するには

運転中のとき

- ⏯ を押して一時停止させると、約10秒後にふたロックが解除されます。（ふたロックのランプが消灯したのを確認してからふたを開けてください。）
- ふたロック中に ⏻ を押して電源を切った場合も、約10秒後にふたロックは解除されます。

電源が入っていないとき

- 電源を入れるとふたロックが解除されます。（ふたのロックがかかっているときに電源プラグを抜いたり、停電になると、ロックがかかったままになります。運転終了後に電源プラグを抜くときは、ふたロックのランプが消えたのを確認してから電源プラグを抜いてください。）

チャイルドロック

子供による誤動作や勝手にふたを開けてしまい洗濯・脱水槽内に閉じ込められるのを防ぐため、ふたにロックをかけると共にボタン操作をできないようにします。

1 を約5秒間押す

- "ピッピッピ"と電子音が鳴り"CL"と表示されたのち、チャイルドロックのランプが点灯します。

2 コースを選択してから ⏯ を押す

- ふたにロックがかかり、ふたロックランプが点灯し、電源の「入」「切」およびチャイルドロックの解除以外の操作が無効になります。

チャイルドロックを解除するには

- ⏪ を約5秒間押すと、"ピッピッピ"と電子音が鳴り、チャイルドロックが解除されます。

※チャイルドロックは解除するまで、電源を切っても解除されません。

※『標準』コースの布量検知（ファジープログラム）を行う場合は、洗剤投入後に運転を開始してからチャイルドロックを設定してください。

終了音を消す

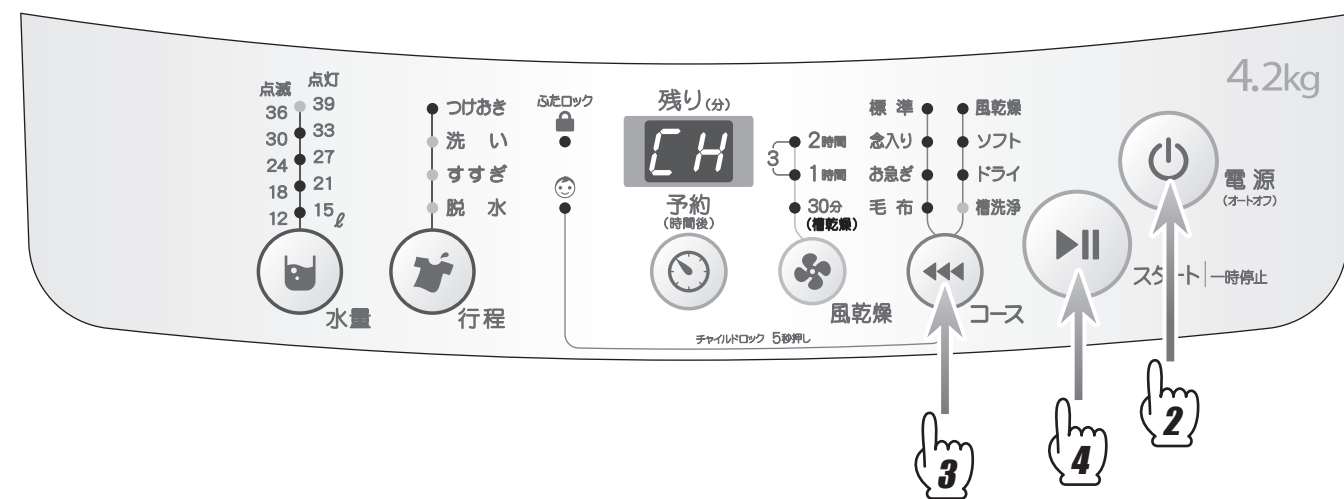
運転終了をお知らせする、終了ブザーを鳴らないように設定することができます。（初期設定は「終了ブザー音有り」）

※運転終了後に、自動的に「終了ブザー音有り」に戻ります。「終了ブザー音無し」の設定は、都度行ってください。

※運転開始後に「終了ブザー音有り」を再度設定する場合は、一度電源を切って初めから洗濯設定をしてください。

お手入れ

洗濯・脱水槽を洗う（槽洗浄コース）

長期間の使用により洗濯・脱水槽に汚れや黒カビが発生することがあります。
2ヶ月に1度（粉石けんを使用している場合は、1ヶ月に1度）を目安に槽洗浄を行ってください。

1 水栓を開く

2 を押す

3 ⏪ を押して、『槽洗浄』を選ぶ

- 残り時間表示が「CH」と表示されます。（12時間という意味です。）

4 を押す

- 運転を開始します。

5 パルセーターが回り始めたら市販の塩素系漂白剤を約200ml入れる

- 通常の洗濯洗剤は使用しないでください。洗浄効果がありません。
- 衣類は入れないでください。
- ふたは必ず閉めてください。

6 運転終了

- 槽洗浄の終了をブザーでお知らせし、自動的に電源が切れます。

お願い

連続して槽洗浄運転を行わないでください。

- 故障の原因になります。

汚れのひどい場合や黒カビが発生してしまった場合は、市販の洗濯槽クリーナーをご使用ください。

- 洗濯槽クリーナーの説明書に従ってご使用ください。

ステンレス槽のさびは…

市販のクリームクレンザーをスポンジにつけて、さびを取り除いてください。

- 金属たわしなどは使用しないでください。洗濯・脱水槽を傷つけ、さびやすくなります。

さびの発生を防ぐために…

- ヘアピンなどのさびやすい鉄製品を洗濯・脱水槽に入れたままにしない。
- 赤さびや鉄粉などの混じった水を入れない。特に、断水後はご注意ください。

お手入れのしかた

揮発性のものは使わない

揮発性のもの（シンナー・ベンジン・ガソリンなど）を使用すると、変形や割れが発生することがあります。

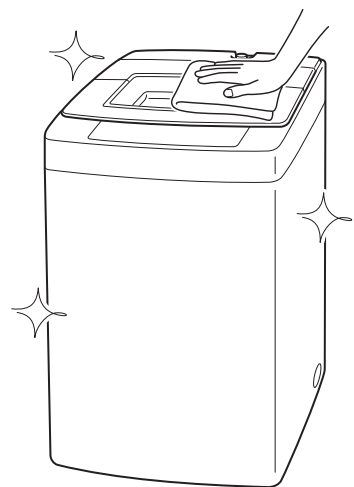
⚠警告

安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。

感電するおそれがあります。

本体

よく絞ったやわらかい布で拭く

- 汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で拭き取ってください。中性洗剤を使用したあとは、よく水拭きをし、さらに乾いた布で拭いてください。

直接水をかけて掃除することは、絶対にしないでください。

- ショート・感電のおそれがあります。

ご注意

化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書に従ってください。

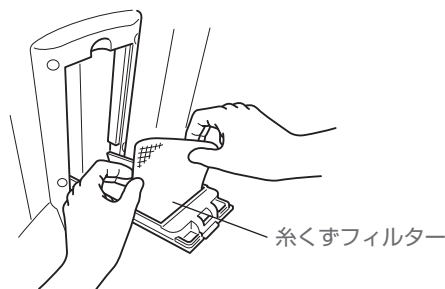
給水口

歯ブラシなどで汚れを取り除く

- 給水口にゴミがたまると水の出方が悪くなります。最低でも年に1度は、給水ホースを外し、給水口にたまったゴミを歯ブラシなどで取り除いてください。

糸くずフィルター

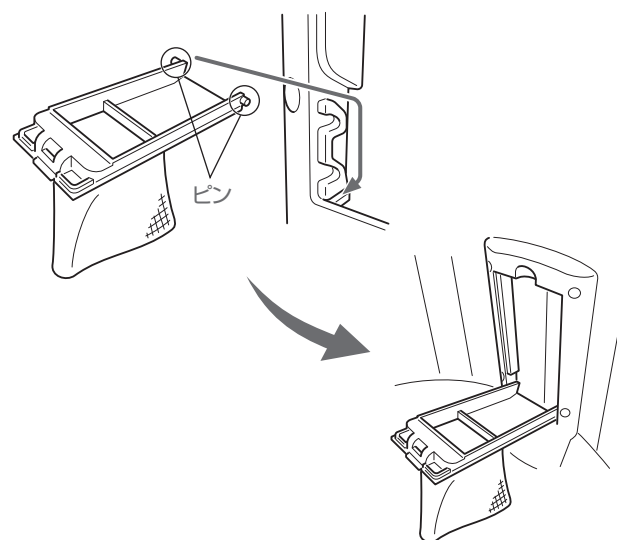
裏返してゴミを取り除く

- 汚れが落ちにくい場合は、外して水洗いしてください。

別売部品

糸くずフィルター

希望小売価格　1個　600円（税抜）

ご購入は、お買上げの販売店または、お客さま修理ご相談窓口へお問い合わせください。

■ 糸くずフィルターの取り付けかた

矢印のように糸くずフィルターの左右のピンを差し込み、取り付けを行ってください。（取り外しは逆の手順で行ってください。）

電源コード・プラグの安全点検

- 電源コードに亀裂や、すり傷がありませんか?
- 電源プラグがコンセントに根本まで確実に差し込まれていますか?
- 電源プラグに異常な発熱はありませんか?
- 電源プラグの刃および刃の取付け面にホコリが付着していませんか?

凍結のおそれがあるときは

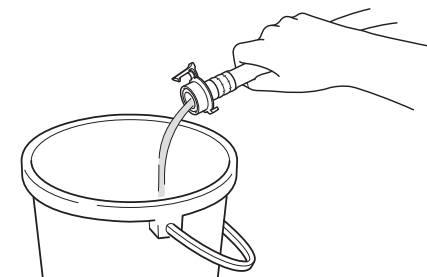
冬場、凍結させないために…

1 **水栓を閉める**

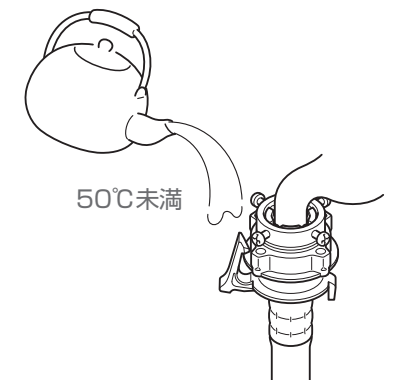
2 **『洗い』の運転を行い、給水ホースの水を抜く**

- 10秒程度運転してください。給水ホースを外したときの水の飛び散りを防ぐためです。

3 **『脱水』の運転を行い、洗濯・脱水槽の残水を排水する**

4 **給水ホースの水栓蛇口側を外して、ホース内の残水をバケツなどに排水する**

凍結してしまったときは…

1 **給水ホースの接続部（水栓側と本体側）に50℃未満の温水をかける**

- 床がぬれて困る場合は、蒸しタオルで包んでください。

2 **給水ホースを外し、50℃未満の温水につける**

- 水が飛び散る場合がありますので、タオルなどをあてて外してください。

3 **50℃未満の温水を約1L、洗濯・脱水槽に入れ、10分間放置する**

4 **給水ホースを接続し、水栓を開けて運転し、給水と排水できるか確認する**

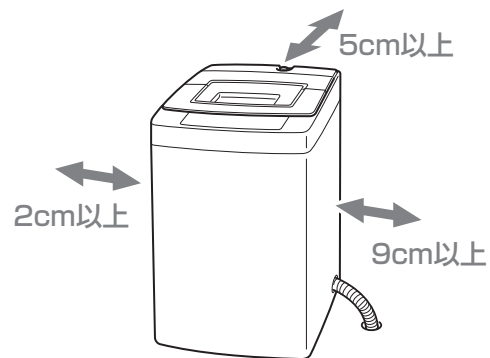
据え付け

お願い

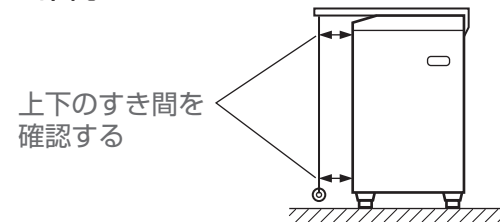
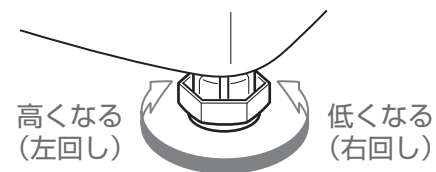
- 据え付け前は、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 給水ホース、マジックつぎ手は、必ず付属品または当社専用のものを使用してください。
- 据え付け後は、必ず試運転を行い、水漏れや異常音が発生しないか確認してください。

据え付けについて

据え付け場所

- 床が丈夫で水平なところ
- 湿気の少ないところ
  浴室には絶対に据え付けないでください。
- 冬期に凍結のおそれのないところ
- 給水･排水の便利なところ
- 雨、直射日光のあたらないところ

本体は排水ホース側を**9cm以上**、反対側は**2cm以上**、裏側は**5cm以上**壁から離してください。異常な振動や音を防ぐためです。

水平に設置

1 水準器またはおもり(5円玉など)をつけた糸を図のように下げて、水平度を確認する

2 水平でないときは、前側2ヶ所の高さ調整脚を回して調整する

3 洗濯機の対角を押さえて、がたつきがないか確認する

アースについて

⚠警告

必ず、アースをしてください
故障や漏電のとき、感電するおそれがあります。

■アース工事について

- 安全にご使用いただくため、D種(第3種)接地工事が必要です。詳しくは、お買上げの販売店にご相談ください。(接地工事は電気工事士の資格が必要です。)

■コンセントに
アース端子があるとき

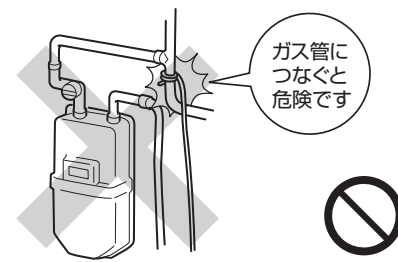
次の場所には、アース線を接続しないでください。

- ガス管……爆発や引火の危険性があります。
- 水道管……プラスチックの部分があり、アース効果がありません。
- 避雷針･電話のアース線
  ……落雷のときに大電流が流れ危険です。

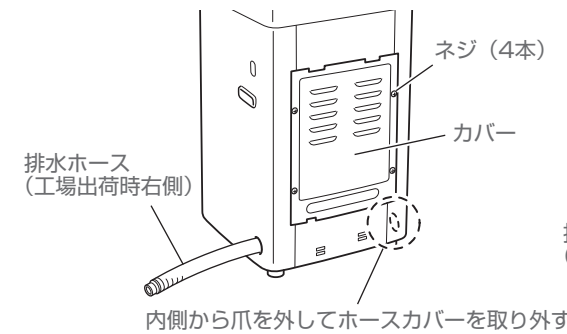
排水ホース

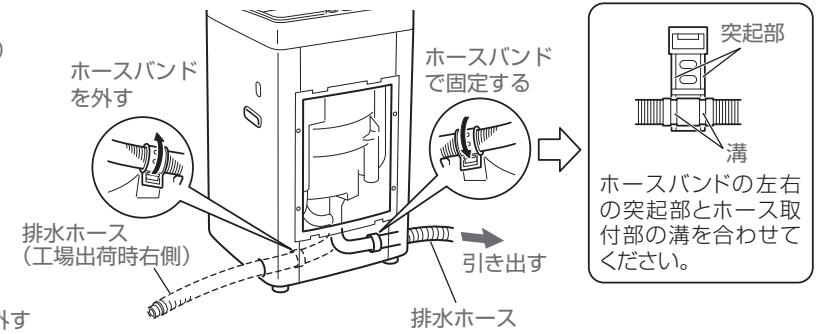
付け換え

⚠警告

排水ホースの付け換えは、必ず手袋をする
けがをするおそれがあります。

- 工場出荷時は排水ホースが右側にセットされています。
  左側に付け換える場合は、下記手順で付け換えてください。

1 背面についているネジ4本を外してカバーを取り外し、ホースカバーを外す

- 鉄板で手を切らないように、注意してください。

2 ホースバンドを外して排水ホースを付け換える

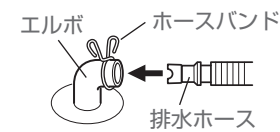
- 付け換え後は、ホースが床についたり、洗濯槽が引っ張られないように注意してください。

排水口に差し込む

排水ホース先端のフックを外し、排水口に差し込む

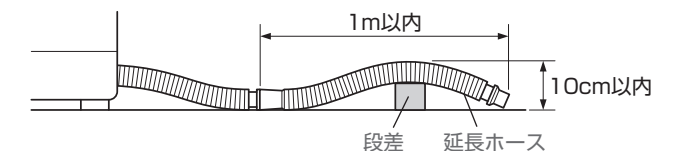
- 排水スリーブは排水ホースの先端がふさがれて排水が悪くならないように、すき間を持たせるためのものです。必ず取り付けてご使用ください。

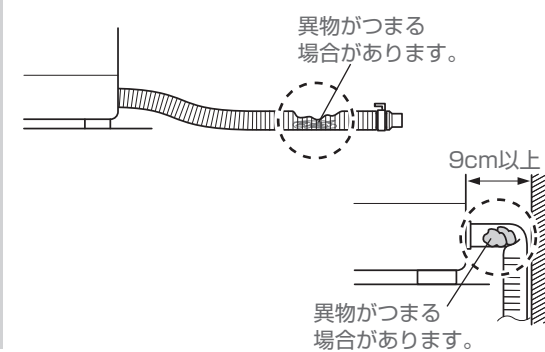
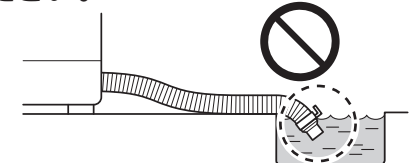
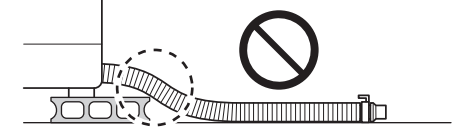
※排水ホースは排水時の水の力や振動などで動くことがあるため、排水口にしっかりと差し込み抜けないことを確認してください。

■排水口がエルボの場合

排水ホースの先端部をエルボにしっかりと差し込み、ホースバンドで確実に固定してください。

ホースを延長する場合

- お買い上げの販売店にて「排水ホース延長キット」をご購入ください。
- 排水ホースの長さ、敷居を越える場合の高さは下表に従ってください。

ホースの状態	ホースの高さ	延長ホースの長さ
途中で高くなる場合	10cm以内	1m以内
途中で高くならない場合	―	3m以内

ご注意

ホースをつぶさないようにしてください。

ホースの先が下水口の水につからないようにしてください。

ホースのこすれに注意してください。

給水ホース

水栓について

横水栓が適しています

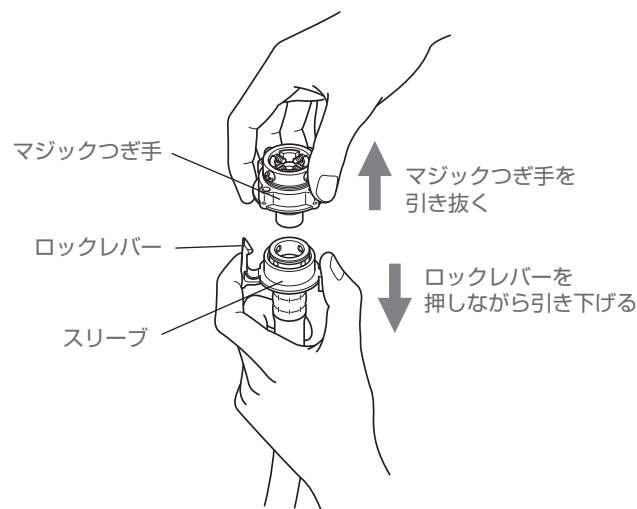
横水栓　角口水栓　自在水栓　万能ホーム水栓

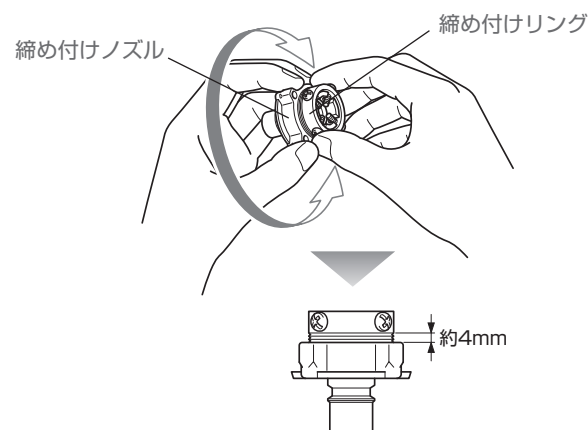
お願い

- 給湯機設備には取り付けないでください。
- 水栓が合わない場合は、販売店またはハイアールジャパンセールス株式会社へご相談ください。
- 洗濯機専用水栓の設置には、別売の「分岐水栓」の利用をおすすめします。

マジックつぎ手の取り付けかた

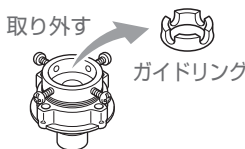
1 スリーブを引き下げて、マジックつぎ手を外す

- ロックレバーを押しながらスリーブを引き下げて、マジックつぎ手を外してください。

2 すき間を約4mmにする

- 締め付けノズルを回して、締め付けリングと締め付けノズルのすき間を**約4mm**にしてください。

3 ネジをゆるめ、蛇口に押し付ける

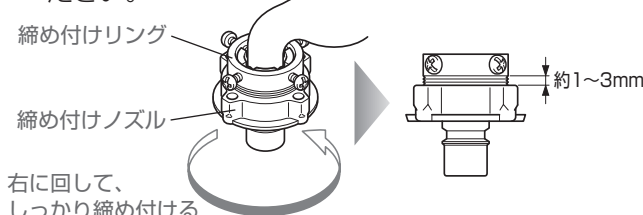
- マジックつぎ手のネジ（4本）をゆるめて、蛇口に垂直に押し付けてください。

蛇口の口径が、17mm以上の場合

- ネジ（4本）をいっぱいにゆるめて、ガイドリングを取り外してください。

4 ネジを均等に締め付ける

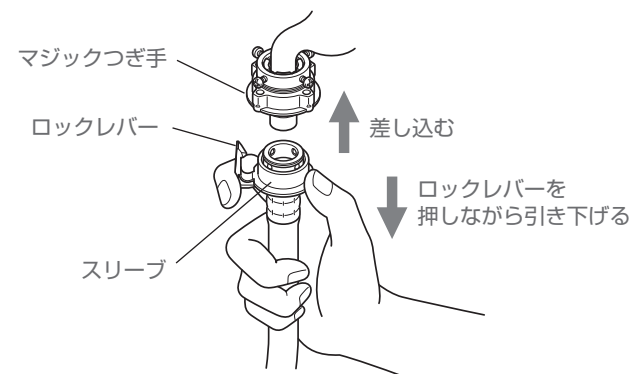
- 蛇口が中心になるように、ネジ（4本）を均等にしっかり締め付けてください。

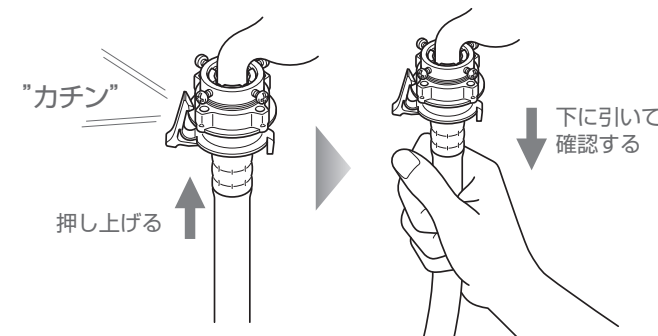
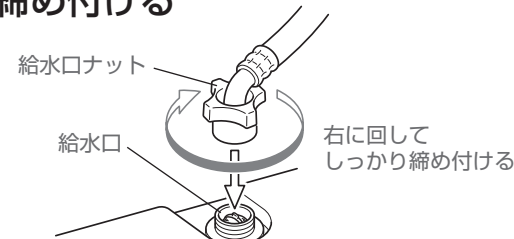
5 締め付けノズルを矢印の方向に回し、しっかり締め付ける

- 締め付け後、締め付けリングと締め付けノズルのすき間が**約1～3mm**になっていることを確認してください。

※締めつけることによってマジックつぎ手内のゴムパッキンと蛇口の先端が密着し、水漏れを防止します。

給水ホースの取り付けかた

1 スリーブを引き下げて、マジックつぎ手に差し込む

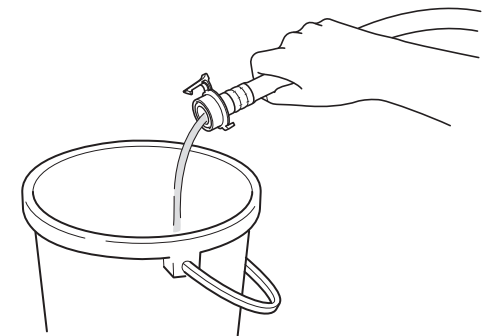
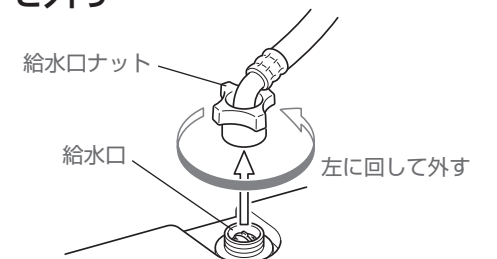
- ロックレバーを押しながらスリーブを引き下げて、マジックつぎ手に差し込んでください。

2 スリーブを離して"カチン"と音がするまで押し上げる

- 取り付け後、給水ホースを下に引いて、確実に取り付けられているか確認してください。

3 給水ナットを給水口にしっかり締め付ける

給水ホースの外しかた

1 水栓を閉める

2 『洗い』の運転を約10秒間行う

- 給水ホースを外したときの水の飛び散りを防ぐためです。

3 給水ホースの水栓（蛇口）側を外して、ホース内の水をバケツなどに排水する

4 給水ホースの給水ナット（本体側）を外す

給水ホースの延長は、別売の延長ホースをご使用ください。

お願い

- 取り付け後、必ず水漏れがないか確認してください。水漏れするときは、始めからやり直してください。
- 転居などによりマジックつぎ手を取り付け直す場合は、必ず、すき間を約4mmに調節してから（手順2）、取り付けてください。
- 長期間の使用により水漏れした場合は、もう一度始めから取り付け直してください。それでも不具合のある場合は、マジックつぎ手を交換してください。

故障かなと?思ったら

以下の点をお調べになり、それでも具合の悪いときは、お買上げの販売店にご相談ください。

こんなとき	エラー表示	おたしかめください(原因)
運転しない		● 電源プラグをコンセントにしっかりと差込んでいますか? ● 電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか? ● 停電ではありませんか? ● 電源スイッチを入れていますか? ● スタート／一時停止ボタンは押しましたか?
水漏れ		● 水栓の形状は適していますか?(P.35) ● マジックつぎ手のネジやノズルがゆるんでいませんか?(P.35) ● 給水口ナットの締め付けがゆるんでいませんか?(P.36) ● 給水口にゴミが詰まっていませんか?(P.31) ● 排水ホースがはずれていませんか?(P.34)
異常音がする 振動が大きい		● 洗濯機の据え付けが傾いていたり、がたついたりしていませんか?(P.33) ● マッチ棒やヘアピン、金属物と一緒に洗っていませんか? ● 電源コードやアース線、給水ホースのたるみが洗濯機に当っていませんか? (脱水の振動で音が大きくなることがあります。)
風乾燥で洗濯物に ムラができる		● 洗濯物の量が多すぎませんか? (量が多いとうまくかくはんできずムラになります。) ● 洗濯物の量が極端に少なすぎませんか? (量が極端に少ない(0.5kg未満)と洗濯･脱水槽にはりつき、うまくかくはんできずムラになります。)
ふたが開かない		● ふたロック機能が働いていませんか?(P.29) ● チャイルドロック設定になっていませんか?(P.29)
排水しない	E1	● 排水ホースを排水口に差し込んでいますか? ● 排水ホースがつぶれていませんか?(P.34) ● 排水の位置が高くなっていませんか?(P.34) ● 排水ホースの口がふさがれていませんか?(P.34) ● 排水ホースの先端が水につかっていませんか?(P.34)
途中で止まる	E2	● ふたは閉まっていますか?(P.29) ● 予約タイマー運転時に、ふたを開けていませんか?(P.28)
脱水しない	E3	● 洗濯物が片寄っていませんか? ● 洗濯･脱水槽の排水口に異物が詰まっていませんか?
給水しない	E4	● 水栓を開いていますか? ● 給水ホース接続口の網にゴミなどが詰まっていませんか?(P.31) ● 凍結していませんか? ● 断水していませんか? ● 水道水圧が低くありませんか?
	FA	● 水位(水量)センサーに異常があります。
	F8	● ふたロック機能が正常に働いていません。 ● ふたが完全に閉まっていますか?(P.4) ● ふたロック部にボタンや硬貨が詰まっていませんか?(P.4) ● ふた側のロック部品が破損していませんか? ● 一度電源を切って、電源プラグを抜き差ししてください。

下記のような場合は故障ではありませんので、ご注意ください。

初めて使用するときに 排水ホースから水が出る	● 工場の性能テスト時の残水です。
間欠的に脱水する	● 脱水を効果的に行うためのものです。
脱水の途中で すすぎになる	● 洗濯物が片寄っているためです。給水して片寄りを修正し、再び脱水を行います。それでも片寄りが直らない場合は運転を停止します。
運転の途中で止まっている	● 運転切換えのために止まっていることがあります。
運転切換え時に音がする	● 洗いや脱水、給水、排水等の切換え音です。

保証とアフターサービス

保証書(別添付)

お買い上げ日･販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りいただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間

お買い上げ日から1年間(本体)

(ただし、糸くずフィルターなどの消耗品は、保証期間内でも有料とさせていただきます。)

修理を依頼されるとき

37ページの表に従ってお確かめください。それでも異常がある場合は、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。
なお、衣服の補償など製品修理以外の責任はご容赦ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。当社は、この洗濯機の補修用性能部品を製造打切後6年保有しております。
(注:補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料･部品代･出張料などで構成されています。

技術料	診断･故障個所の修理および部品交換･調整･修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代	修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料	お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客さまご相談窓口

■まずは、**お買い上げの販売店**へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

商品についての全般的なご相談 ＜お客さまセンター＞

総合相談窓口：

固定電話からは　0120-865-812

携帯電話･PHSからは　ナビダイヤル 0570-020-812(有料)

受付時間　365日　9:00～18:30

※FAXでご相談される場合
ナビダイヤル 0570-013-791
(ナビダイヤルでおつなぎします。全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。)

商品の修理サービスについてのご相談

修理相談窓口：

固定電話からは　0120-982-540

携帯電話･PHSからは　ナビダイヤル 0570-010-540(有料)

受付時間　月曜日 ～ 金曜日　9:00～18:30
土曜･日曜･祝日　9:00～17:30

※上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

■"お客さまご相談窓口"における個人情報のお取扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けしたお客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。
また、お客さまの同意がない限り第三者への開示は行いません。(業務委託の場合および法令に基づき、必要とされる場合を除く。)

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品･サービスに関わるご相談･お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにハイアールジャパンセールス株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理･監督をいたします。